

兵 庫 県 地 域 防 災 計 画

(地 震 災 害 対 策 計 画)

平成24年修正 (案)

兵 庫 県 防 災 会 議

兵庫県地域防災計画（地震災害対策計画）
H24修正（案）

本計画は、風水害等対策計画、地震災害対策計画、海上災害対策計画、原子力等防災計画、大規模事故災害対策計画及び資料編から構成される兵庫県地域防災計画のうち、地震災害対策計画を記載したものである。

目 次

第1編 総 則

| | |
|--------------------------|----|
| 第1節 計画の趣旨 | 1 |
| 第2節 防災機関の事務又は業務の大綱 | 3 |
| 第3節 兵庫県の地形と地質 | 10 |
| 第4節 既往地震の概要 | 13 |
| 第5節 地震災害の危険性と被害の特徴 | 23 |

第2編 災害予防計画

| | |
|-------------------------------|-----|
| 第1章 基本方針 | 43 |
| 第2章 災害応急対策への備えの充実 | |
| 第1節 組織体制の整備 | 45 |
| 第2節 研修・訓練の実施 | 47 |
| 第3節 広域防災体制の確立 | 50 |
| 第4節 災害対策拠点の整備・運用 | 55 |
| 第5節 情報通信機器・施設の整備・運用 | 58 |
| 第6節 防災拠点の整備 | 62 |
| 第7節 火災予防対策の推進 | |
| 第1款 出火防止・初期消火体制の整備 | 68 |
| 第2款 消防施設・設備の整備 | 70 |
| 第3款 大規模火災時の避難計画 | 73 |
| 第8節 防災資機材の整備 | 77 |
| 第9節 災害救急医療システムの整備 | 79 |
| 第10節 緊急輸送体制の整備 | 83 |
| 第11節 避難対策の充実 | 85 |
| 第12節 災害時帰宅困難者対策の推進 | 88 |
| 第13節 備蓄体制等の整備 | 90 |
| 第14節 家屋被害認定士制度等の整備 | |
| 第1款 家屋被害認定士制度の整備 | 94 |
| 第2款 被災建築物応急危険度判定制度の整備 | 95 |
| 第3款 被災宅地危険度判定制度の整備 | 97 |
| 第15節 廃棄物対策の充実 | 99 |
| 第16節 災害時要援護者支援対策の充実 | 100 |
| 第17節 災害ボランティア活動の支援体制の整備 | 103 |

| | | |
|------|----------------------|-----|
| 第18節 | 津波災害対策の推進 | 106 |
| 第19節 | 中山間地等における地震対策 | 109 |
| 第20節 | 災害対策基金の積立・運用 | 111 |
| 第3章 | 県民参加による地域防災力の向上 | |
| 第1節 | 防災に関する学習等の充実 | 113 |
| 第2節 | 自主防災組織の育成 | 118 |
| 第3節 | 企業等の地域防災活動への参画促進 | 121 |
| 第4章 | 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備 | |
| 第1節 | 防災基盤・施設等の整備 | |
| 第1款 | 地震防災緊急事業の推進 | 123 |
| 第2款 | 防災対策事業の推進 | 125 |
| 第2節 | 都市の防災構造の強化 | 127 |
| 第3節 | 建築物等の耐震性の確保 | 131 |
| 第4節 | 地盤災害の防止施設等の整備 | |
| 第1款 | 砂防設備の整備 | 136 |
| 第2款 | 地すべり防止施設の整備 | 137 |
| 第3款 | 急傾斜地崩壊防止施設の整備 | 138 |
| 第4款 | 治山施設の整備 | 139 |
| 第5款 | 宅地造成等の規制 | 141 |
| 第6款 | 災害危険区域対策の実施 | 142 |
| 第7款 | 地盤の液状化対策の実施 | 143 |
| 第5節 | 河川、海岸、ため池施設の整備 | 144 |
| 第6節 | 交通関係施設の整備 | |
| 第1款 | 道路施設の整備 | 146 |
| 第2款 | 港湾施設の整備 | 149 |
| 第3款 | 漁港施設の整備 | 151 |
| 第4款 | 鉄道施設の整備 | 152 |
| 第5款 | 空港・ヘリポート対策の実施 | 153 |
| 第7節 | ライフライン関係施設の整備 | |
| 第1款 | 電力施設の整備等 | 155 |
| 第2款 | ガス施設の整備等 | 158 |
| 第3款 | 電気通信施設の整備等 | 162 |
| 第4款 | 水道施設の整備等 | 164 |
| 第5款 | 下水道施設の整備等 | 166 |
| 第6款 | 工業用水道施設の整備等 | 168 |
| 第7款 | 共同溝等の整備 | 170 |
| 第8節 | 地下街の防災体制の整備 | 171 |
| 第9節 | 危険物施設等の予防対策の実施 | 172 |
| 第5章 | 調査研究体制等の強化 | |
| 第1節 | 地震観測体制の整備 | 177 |
| 第2節 | 地震に関する調査研究の推進 | 179 |
| 第6章 | 阪神・淡路大震災の教訓の発信と継承 | |
| 第1節 | ひょうご安全の日を定める条例に基づく活動 | 185 |
| 第2節 | 復興10年総括検証・提言事業の成果の発信 | 186 |

| | |
|------------------------------|-----|
| 第3節 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターの運営 | 187 |
| 第4節 国際防災・人道支援拠点の形成 | 188 |
| 第5節 住宅再建共済制度の推進 | 190 |

第3編 災害応急対策計画

| | |
|--------------------------|-----|
| 第1章 基本方針 | 193 |
| 第2章 迅速な災害応急活動体制の確立 | |
| 第1節 組織の設置 | 195 |
| 第2節 動員の実施 | 206 |
| 第3節 情報の収集・伝達 | |
| 第1款 気象予警報等の発表・伝達 | 210 |
| 第2款 災害情報の収集・報告 | 219 |
| 第3款 通信手段の確保 | 234 |
| 第4節 防災関係機関等との連携促進 | |
| 第1款 自衛隊への派遣要請 | 240 |
| 第2款 関係機関との連携 | 246 |
| 第5節 災害救助法の適用 | 255 |
| 第3章 円滑な災害応急活動の展開 | |
| 第1節 消火活動等の実施 | |
| 第1款 地震火災の消火活動の実施 | 259 |
| 第2款 水防活動の実施 | 262 |
| 第2節 救助・救急、医療対策の実施 | |
| 第1款 人命救出活動の実施 | 266 |
| 第2款 救急医療の提供 | 268 |
| 第3款 医療・助産対策の実施 | 270 |
| 第3節 交通・輸送対策の実施 | |
| 第1款 交通の確保対策の実施 | 276 |
| 第2款 緊急輸送対策の実施 | 287 |
| 第3款 ヘリコプタ - の運航 | 290 |
| 第4節 避難対策の実施 | 292 |
| 第5節 住宅の確保 | 298 |
| 第6節 食料・飲料水及び物資の供給 | |
| 第1款 食料の供給 | 301 |
| 第2款 応急給水の実施 | 304 |
| 第3款 物資の供給 | 306 |
| 第7節 保健衛生、感染症対策、遺体の火葬等の実施 | |
| 第1款 精神医療の実施 | 308 |
| 第2款 健康対策の実施 | 310 |
| 第3款 食品衛生対策の実施 | 311 |
| 第4款 感染症対策の実施 | 312 |
| 第5款 遺体の火葬等の実施 | 315 |
| 第8節 生活救援対策の実施 | 317 |
| 第9節 災害時要援護者支援対策の実施 | 321 |

| | | |
|------|------------------------|-----|
| 第10節 | 愛玩動物の収容対策の実施 | 324 |
| 第11節 | 災害情報等の提供と相談活動の実施 | |
| 第1款 | 災害広報の実施 | 325 |
| 第2款 | 各種相談の実施 | 329 |
| 第3款 | 災害放送の要請 | 330 |
| 第4款 | 放送事業対策の実施 | 332 |
| 第12節 | 廃棄物対策の実施 | |
| 第1款 | ガレキ対策の実施 | 335 |
| 第2款 | ごみ処理対策の実施 | 337 |
| 第3款 | し尿処理対策の実施 | 339 |
| 第13節 | 環境対策の実施 | 341 |
| 第14節 | 災害ボランティアの派遣・受入れ | 342 |
| 第15節 | 海外からの支援の受入れ | 346 |
| 第16節 | 交通・輸送施設の応急対策の実施 | |
| 第1款 | 鉄道施設における応急対策の実施 | 348 |
| 第2款 | 港湾施設における応急対策の実施 | 357 |
| 第3款 | 空港施設における応急対策の実施 | 358 |
| 第17節 | ライフラインの応急対策の実施 | |
| 第1款 | 電力の確保 | 359 |
| 第2款 | ガスの確保 | 361 |
| 第3款 | 電気通信の確保 | 364 |
| 第4款 | 水道の確保 | 367 |
| 第5款 | 下水道の確保 | 369 |
| 第6款 | 工業用水道の確保 | 372 |
| 第18節 | 教育対策の実施 | 374 |
| 第19節 | 警備対策の実施 | 379 |
| 第20節 | 企業庁応急対策の実施 | 381 |
| 第21節 | 危険物施設等の応急対策の実施 | 382 |
| 第22節 | 農林水産関係対策の実施 | 387 |
| 第23節 | 公共土木施設等の応急復旧及び余震対策等の推進 | 389 |
| 第24節 | 東海地震にかかる警戒宣言等に対する対応 | 392 |

第4編 災害復旧計画

| | | |
|-----|------------|-----|
| 第1節 | 災害復旧事業の実施 | 395 |
| 第2節 | 被災者の生活再建支援 | 399 |
| 第3節 | 住宅の復旧・再建支援 | 401 |
| 第4節 | 災害義援金の募集等 | 404 |

第5編 災害復興計画

| | | |
|-----|---------|-----|
| 第1節 | 組織の設置 | 405 |
| 第2節 | 復興計画の策定 | 408 |

第6編 東南海・南海地震防災対策推進計画

第1章 総則

| | |
|--------------------------------|-----|
| 第1節 推進計画の趣旨 | 413 |
| 第2節 推進地域 | 414 |
| 第3節 地震発生時の災害応急対策として行う事務又は業務の大綱 | 415 |
| 第4節 東南海・南海地震の被害の特性 | 419 |

第2章 災害対策本部の設置等

| | |
|-----------------|-----|
| 第1節 災害対策本部等の設置 | 421 |
| 第2節 災害応急対策要員の動員 | 422 |

第3章 地震発生時の応急対策等

| | |
|------------------|-----|
| 第1節 地震発生時の応急対策 | 423 |
| 第2節 資機材、人員等の配備手配 | 426 |
| 第3節 他機関に対する応援要請 | 427 |

第4章 津波からの防護及び円滑な避難の確保に関する事項

| | |
|-----------------------------|-----|
| 第1節 津波に対する体制整備 | 429 |
| 第2節 津波からの防護のための施設の整備等 | 430 |
| 第3節 津波に関する情報の伝達等 | 432 |
| 第4節 避難対策等 | 441 |
| 第5節 消防機関等の活動 | 446 |
| 第6節 水道、電気、ガス、通信、放送関係 | 448 |
| 第7節 交通対策 | 450 |
| 第8節 県、市町自らが管理又は運営する施設に関する対策 | 452 |

第5章 地震防災上緊急に整備すべき施設等の整備計画

| | |
|------------------------|-----|
| 第1節 地震防災上緊急に整備すべき施設の整備 | 455 |
| 第2節 建築物等の耐震化の推進 | 456 |

第6章 地域防災力の向上及び防災訓練計画・防災教育・広報

| | |
|--------------------------|-----|
| 第1節 地域防災力の向上 | 457 |
| 第2節 防災訓練計画 | 459 |
| 第3節 地震防災上必要な教育及び広報に関する計画 | 461 |

第7章 東南海・南海地震の時間差発生による災害拡大防止

| | |
|-------------------------|-----|
| 第1節 東南海・南海地震の時間差発生等への対応 | 465 |
|-------------------------|-----|

第 1 節 計画の趣旨

1 計画の目的

この計画は、災害対策基本法（昭和36年11月15日法律第223号）第40条の規定に基づき、兵庫県の地域（石油コンビナ - ト等災害防止法（昭和50年12月17日法律第84号）に規定する石油コンビナ - ト等特別防災区域を除く。）に係る災害対策全般に関し、次の事項を定めることにより、総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図り、県民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。

- (1) 兵庫県の区域を管轄する指定地方行政機関、自衛隊、兵庫県、市町、指定公共機関、指定地方公共機関等の処理すべき事務又は業務の大綱
- (2) 防災施設の新設又は改良、防災のための調査研究、教育及び訓練等災害予防に関する計画
- (3) 災害情報の収集・伝達、避難、消防、水防、救難、救助、衛生等災害応急対策に関する計画
- (4) 公共土木施設復旧事業の実施等災害復旧に関する計画
- (5) 復興本部の設置等災害復興に関する計画

2 計画の基本的な考え方

(1) 減災対策の推進

災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本に、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最優先とし、また、経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせることで災害に備えることとする。

(2) 自助・共助・公助が一体となって取り組む防災の推進

行政の対策「公助」には限界があることから、県民一人ひとりが自分の命や財産を自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」を適切に組み合わせた取り組みを推進することとする。

(3) 新しい「災害文化」の確立

阪神・淡路大震災など、過去の災害における被害や復旧・復興の経験、そこから得た教訓を継承し、地域において防災・減災の知恵や方法を育むことにより、新しい「災害文化」の確立を図ることとする。

(4) 多様な主体の協働により立ち向かう防災の推進

県民、民間団体、事業者、行政機関等、多様な主体が相互に連携しながら協働して防災の取り組みを推進することとする。

その際、男女共同参画の視点から、地域防災計画、復興計画や避難所運営等の意思決定の場における女性の参画を促進するとともに、救援物資、避難所の設置・運営等の対策面において、女性や子育て家庭のニーズに配慮することとする。

3 計画の性格と役割

(1) この計画は、地震災害（地震に伴う津波災害も含む）に関して、県、市町その他の防災関係機関さらには関係団体や県民の役割と責任を明らかにするとともに、防災関係機関の業務等についての基本的な指針を示すこととする。

(2) この計画は、次のような役割を担う。

県、市町その他の防災関係機関においては、この計画の推進のための細目等の作成及び地震災害対策の立案、実施に当たっての指針となること。

市町においては、市町地域防災計画の作成に当たっての指針となること。

関係団体や県民においては、防災意識を高め、自発的な防災活動に参加する際の参考となること。

- (3) この計画は、地震防災に関する諸般の状況の変化に対応するため、必要に応じて見直し、修正を加えることとする。
- (4) この計画の推進に当たっては、石油コンビナ - ト等災害防止法に基づく兵庫県石油コンビナ - ト等防災計画等と調整を図ることとする。

4 計画の構成

- (1) この計画は、本編及び資料編で構成する。
- (2) 本編の構成は、次のとおりとする。

第1編 総則

第2編 災害予防計画

[第1章] 基本方針

[第2章] 災害応急対策への備えの充実

[第3章] 県民参加による地域防災力の向上

[第4章] 堅牢でしなやかな地域防災基盤の整備

[第5章] 調査研究体制等の強化

[第6章] 阪神・淡路大震災の教訓の発信と継承

第3編 災害応急対策計画

[第1章] 基本方針

[第2章] 迅速な災害応急活動体制の確立

[第3章] 円滑な災害応急活動の展開

第4編 災害復旧計画

第5編 災害復興計画

第6編 東南海・南海地震防災対策推進計画

[第1章] 総則

[第2章] 災害対策本部の設置等

[第3章] 地震発生時の応急対策等

[第4章] 津波からの防護及び円滑な避難の確保に関する事項

[第5章] 地震防災上緊急に整備すべき施設等の整備計画

[第6章] 地域防災力の向上及び防災訓練計画・防災教育・広報

[第7章] 東南海・南海地震の時間差発生による災害拡大防止

第2節 防災機関の事務又は業務の大綱

指定地方行政機関、自衛隊、県、市町、指定公共機関、指定地方公共機関は、防災に関し、主として次に掲げる事務又は業務を処理するものとする。

第1 指定地方行政機関

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|---------------------|--|--|--|---------------|
| 近畿管区警察局 | | 1 管区内各府県警察の指導・調整 2 他管区警察局との連携 3 関係機関との協力 4 情報の収集及び連絡 5 警察通信の運用 | | |
| 近畿総合通信局 | 1 非常時の重要通信確保体制の整備 2 非常通信協議会の指導育成 | 災害時における通信手段の確保 | | |
| 近畿財務局 神戸財務事務所 | | 1 仮設住宅設置可能地の提示 2 金融機関に対する緊急措置の指示 | 1 災害復旧事業費査定立会 2 地方公共団体に対する単独災害復旧事業（起債分）の査定及び災害融資 | 復興住宅建設等候補地の提示 |
| 近畿厚生局 | | 救援等に係る情報の収集及び提供 | | |
| 兵庫労働局 | 工場、事業場における労働災害防止の監督指導 | | | |
| 近畿農政局 (神戸地域センター) | 1 農地農業用施設等の災害防止事業の指導・助成 2 農作物等の防災管理指導 3 地すべり区域(直轄)の整備 | 1 土地改良機械の緊急貸付け 2 農業関係被害情報の収集報告 3 農作物等の病虫害防除の指導 4 食料品、飼料、種もみ等の供給あっせん | 1 各種現地調査団の派遣 2 農地、農業用施設等の災害復旧事業の指導及び助成 3 被害農林漁業者等に対する災害融資の指導及び助成 | |
| 農林水産省 | | 災害救助用米穀の供給(売却) | | |
| 近畿中国森林管理局 | 1 国有林における治山施設、落石防止施設等の整備 2 国有林における災害予防及び治山施設による災害予防 3 林野火災予防対策 | 災害対策用復旧用材の供給 | 国有林における荒廃地の復旧 | |

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|-------------|--|--|--|---|
| 近畿経済産業局 | | <ol style="list-style-type: none"> 1 災害対策用物資の適正な価格による円滑な供給の確保 2 事業者(商工業等)の業務の正常な運営の確保 | <ol style="list-style-type: none"> 1 生活必需品、復旧資機材の円滑な供給の確保 2 被災中小企業の振興 3 ライフライン(電力、ガス、工業用水道)の復旧対策 | <ol style="list-style-type: none"> 1 被災地の復興支援 2 ライフライン施設等の本格復興 3 被災中小企業の復興その他経済復興の支援 |
| 中部近畿産業保安監督部 | <ol style="list-style-type: none"> 1 電気、ガス、火薬類、石油、液化石油ガス施設等の安全確保対策の推進 2 鉱山における災害の防止及び安全の推進 | <ol style="list-style-type: none"> 1 電気、火薬類、都市ガス、石油、液化石油ガス施設等の緊急対策の指導 2 鉱山における災害時の緊急対策 | | |
| 近畿地方整備局 | <ol style="list-style-type: none"> 1 直轄公共土木施設の整備と防災管理 2 応急機材の整備及び備蓄 3 指定河川の洪水予警報及び水防警報の発表及び伝達 4 港湾施設(直轄)の整備と防災管理 | <ol style="list-style-type: none"> 1 直轄公共土木施設の応急点検体制の整備 2 災害時の道路通行禁止と制限及び道路交通の確保 3 直轄公共土木施設の二次災害の防止 4 港湾及び海岸(港湾区域内)における災害緊急対策の技術指導 5 緊急を要すると認められる場合の緊急対応(TEC-FORCE) | <ol style="list-style-type: none"> 1 直轄公共土木施設の復旧 2 被災港湾施設(直轄)の復旧 3 被災空港施設(直轄)の復旧 | |
| 近畿運輸局 | 所管する交通施設及び設備の整備についての指導 | <ol style="list-style-type: none"> 1 所管事業に関する情報の収集及び伝達 2 交通機関利用者への情報の提供 3 旅客輸送確保に係る代替輸送、迂回輸送等実施のための調整 4 貨物輸送確保にかかる貨物運送事業者に対する協力要請 5 道路運送にかかる緊急輸送命令に関する情報収集 | <ol style="list-style-type: none"> 1 被災交通施設等に対する本格的な機能復旧の指導 2 交通機関利用者への情報提供 3 被災地方公共団体の復興計画策定に対する協力 | <ol style="list-style-type: none"> 1 被災地方公共団体の復興計画策定に対する支援 2 被災関係事業者等に対する支援 |
| 神戸運輸監理部 | | <ol style="list-style-type: none"> 1 所管事業に関する情報の収集及び伝達 2 緊急海上輸送確保に係る船舶運航業務に特に関与する者に対する必要と認められる場合の輸送命令 | <ol style="list-style-type: none"> 1 被災交通施設等に対する本格的な機能復旧の指導 2 交通機関利用者への情報提供 3 被災地方公共団体の復興計画策定に対する協力 | <ol style="list-style-type: none"> 1 被災地方公共団体の復興計画策定に対する支援 2 被災関係事業者等に対する支援 |
| (兵庫陸運部) | 所管する交通施設及び設備の整備についての指導 | <ol style="list-style-type: none"> 1 所管事業に関する情報の収集及び伝達 2 交通機関利用者への情報の提供 3 旅客輸送確保に係る代替輸送、迂回輸送等実施のための調整 4 貨物輸送確保にかかる貨物運送事業者に対する協力要請 5 道路運送にかかる緊急輸送命令に関する情報収集 | | |

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|---------------------------------------|--|---|---|-------------------------------|
| 大阪航空局 (大阪空港 事務所) | | 1 災害時における航空機による輸送の安全確保 2 遭難航空機の捜索及び救助 | 被災空港施設(直轄)の復旧 | |
| 神戸海洋気象台 | | 気象・地象・水象に関する観測、予報、警報及び情報の発表並びに伝達 | 被災地域における被災復旧を支援するための観測・気象情報提供 | 被災地域における被災復旧を支援するための観測・気象情報提供 |
| 第五管区海上保安本部 第八管区海上保安本部 (舞鶴海上保安部) | 1 海上災害に関する訓練及び普及啓蒙機材の整備・保守及び排油指導・育成及び大型タンカー等の安全対策指導 2 の整備・保守及び排油指導・育成及び大型タンカー等の安全対策指導 3 及び大型タンカー等の安全対策指導 4 危険物積載船舶等に対する安全対策指導 | 1 海上災害に関する警報等の伝達・警戒等調査 2 海上遭難事故情報の提供 3 海上における人命救助 4 海上における消火活動 5 避難者、救援物資等の緊急輸送 6 係留岸壁付近、航路及びその周辺海域の水深調査 7 海上における流出油等事故に関する防除措置 8 船舶交通の制限・禁止及び整理・指導等 9 危険物積載船舶等に対する荷役の中止及び移動の命令 10 海上治安の維持 11 海上における特異事象の調査 | 1 海洋環境への汚染の未然防止又は拡大防止 2 海上交通安全の確保 (1)必要に応じて船舶交通の整理、指導関係者に対する必要な指導 (2)上 | 1 海洋環境の汚染防止 2 海上交通安全の確保 |
| 近畿地方環境事務所 | 1 地盤沈下防災対策 2 廃棄物処理に係る防災体制の整備 3 飼育動物の保護等に係る支援 | 1 所管施設等の避難場所等としての利用 2 緊急環境モニタリングの実施 3 地盤沈下地域状況の把握 4 災害廃棄物等の処理対策 5 危険動物等が逸走した場合及び家庭動物等の保護等に関する地方公共団体への情報提供及び支援 | 1 胃環境監視体制に関する支援措置 2 災害廃棄物等の処理 | 1 環境配慮の確保 |

第2 自衛隊

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|--|---------|-----------------------|---------|---------|
| 陸上自衛隊 第3師団 (第3特科隊) (第36普通科連隊) 海上自衛隊 呉地方隊 (阪神基地隊) | | 人命救助又は財産保護のための応急対策の実施 | | |

第3 兵庫県

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|--------------|---|--|--|---|
| 教育委員会 | 教育委員会に属する施設の整備と防災管理 | 1 教育施設（所管）の応急対策の実施 2 被災児童生徒の応急教育対策の実施 | 被災教育施設（所管）の復旧 | 1 学校教育充実のための対策の実施 2 体験を通じての生きる力を育む教育の推進 3 児童生徒のこころのケアの実施 |
| 警察本部 | | 1 情報の収集 2 救出救助、避難誘導等 3 交通規制の実施、緊急交通路の確保等 | | |
| 知事部局・企業庁・病院局 | 1 県、市町、防災関係機関の災害予防に関する事務又は業務の総合調整 2 市町等の災害予防に関する事務又は業務の支援 3 県土の保全、都市の防災構造の強化など地域防災基盤の整備 4 防災に関する組織体制の整備 5 防災施設・設備等の整備 6 医療、備蓄、輸送等の防災体制の整備 7 防災に関する学習の実施 8 防災訓練の実施 9 防災に関する調査研究の実施 10 県所管施設の整備と防災管理 | 1 県、市町、防災関係機関の災害応急対策に関する事務又は業務の総合調整 2 市町等の災害応急対策に関する事務又は業務の支援 3 災害応急対策に係る組織の設置運営 4 災害情報の収集・伝達 5 災害情報の提供と相談活動の実施 6 水防活動の指導 7 被災者の救援・救護活動等の実施 8 廃棄物・環境対策の実施 9 交通・輸送対策の実施 10 県所管施設の応急対策の実施 | 1 県、市町、防災関係機関の災害復旧に関する事務又は業務の総合調整 2 市町等の災害復旧に関する事務又は業務の支援 3 県所管施設の復旧 | 1 県、市町、防災関係機関の災害復興に関する事務又は業務の総合調整 2 市町等の災害復興に関する事務又は業務の支援 3 災害復興対策に係る組織の設置運営 4 災害復興計画の策定及び都市・都市基盤、住宅、保健・医療、福祉、環境、生活、教育・文化、産業・雇用等、復興事業の実施 |

第4 市町

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|-------|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|
| 市 町 | 市町の地域にかかる災害予防の総合的推進 | 市町の地域にかかる災害応急対策の総合的推進 | 市町の地域にかかる災害復旧の総合的推進 | 市町の地域にかかる災害復興の総合的推進 |

第5 指定公共機関

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|--|-----------------------|---|---------------------|---------|
| 独立行政法人 国立病院機構 (近畿ブロッ ク事務所) | 防災訓練の実施 (トリアージ訓練等) | 災害時における医療救 護 | | |
| 独立行政法人 水資源機構 (関西支社) | ダム施設(所管)等 の整備と防災管理 | ダム施設(所管)等の 応急対策の実施 | 被災ダム施設(所管) 等の復旧 | |
| 郵便事業株 式会社 (神戸支店) 郵便局株式 会社 | | 1 災害時における郵 政事業運営の確保 2 災害時における郵 政事業に係る災害特 別事務取扱い及び援 護対策 | 1 被災郵政事業施 設の復旧 | |
| 日 本 銀 行 (神戸支店) | | | 金融機関に対する緊 急措置の指導 | |
| 日本赤十字社 (兵庫県支部) | | 1 災害時における医 療救護 2 救援物資の配分 | | |
| 日本放送協会 (神戸放送局) | 放送施設の整備と防 災管理 | 1 災害情報の放送 2 放送施設の応急対 策の実施 | 被災放送施設の復旧 | |
| 西日本高速 道路株式会 社 (関西支社) | 有料道路(所管)の 整備と防災管理 | 有料道路(所管)の応 急対策の実施 | 被災有料道路(所管) の復旧 | |
| 阪神高速道 路株式会 社 (神戸管理部) | 有料道路(所管)の 整備と防災管理 | 有料道路(所管)の応 急対策の実施 | 被災有料道路(所管) の復旧 | |
| 本州四国連 絡高速道路 株式会 社 (神戸管理セン ター) | 有料道路(所管)の 整備と防災管理 | 有料道路(所管)の応 急対策の実施 | 被災有料道路(所管) の復旧 | |
| 西日本旅客 鉄道株式会 社 (大阪支社) (神戸支社) (福知山支社) | 鉄道施設の整備と防 災管理 | 1 災害時における緊 急鉄道輸送 2 鉄道施設の応急対 策の実施 | 被災鉄道施設の復旧 | |
| 西日本電信電話株式 会社(兵庫支店) 株式会社エヌ・ティ・ ティ・ドコモ関西支社 エヌ・ティ・ティ・コ ミュニケーションズ株 式会社 | 電気通信設備の整備 と防災管理 | 1 電気通信の疎通確 保と設備の応急対策 の実施 2 災害時における非 常緊急通信 | 被災電気通信設備の 災害復旧 | |
| 大阪ガス 株式会 社 (導管事業部・ 兵庫導管部) | ガス供給施設の整備 と防災管理 | ガス供給施設の応急対 策の実施 | 被災ガス供給施設の 復旧 | |

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|-------------------------|----------------|----------------------|---------------|---------|
| 日本通運株式会社 (各支店) | | 災害時における緊急陸上輸送 | | |
| 関西電力株式会社 (神戸支店、姫路支店) | 電力供給施設の整備と防災管理 | 電力供給施設の応急対策の実施 | 被災電力供給施設の復旧 | |
| KDDI株式会社 (関西総支社) | 電気通信設備の整備と防災管理 | 電気通信の疎通確保と設備の応急対策の実施 | 被災電気通信設備の災害復旧 | |

第 6 指定地方公共機関

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|---|-----------------------------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 鉄道等輸送機関 山陽電気鉄道株式会社 阪急電鉄株式会社 阪神電気鉄道株式会社 神戸電鉄株式会社 神戸高速鉄道株式会社 神戸新交通株式会社 北神急行電鉄株式会社 能勢電鉄株式会社 北条鉄道株式会社 北近畿タンゴ鉄道株式会社 智頭急行株式会社 財団法人神戸市都市整備公社 六甲摩耶鉄道株式会社 | 鉄道施設等の整備と防災管理 | 1 災害時における緊急鉄道等輸送 2 鉄道施設等の応急対策の実施 | 被災鉄道施設等の復旧 | |
| 道路輸送機関 神姫バス株式会社 淡路交通株式会社 全但バス株式会社 阪急バス株式会社 阪神バス株式会社 社団法人兵庫県トラック協会 | 1 道路状況の把握 2 災害時における対応の指導 | 災害時における緊急陸上輸送 | | |
| 道路管理者 兵庫県道路公社 芦有ドライブウェイ株式会社 | 有料道路(所管)の整備と防災管理 | 有料道路(所管)の応急対策の実施 | 被災有料道路(所管)の復旧 | |
| 放送機関 株式会社シノ関西 株式会社サンテレビジョン 神戸エフエム放送株式会社 | 放送施設の整備と防災管理 | 1 災害情報の放送 2 放送施設の応急対策の実施 | 被災放送施設の復旧 | |
| 社団法人 兵庫県医師会 | | 災害時における医療救護 | 外傷後ストレス障害等の被災者への精神的身体的支援 | 外傷後ストレス障害等の被災者への精神的身体的支援 |
| 社団法人 兵庫県看護協会 | | 1 災害時における医療救護 2 避難所における避難者の健康対策 | | |

| 機 関 名 | 災 害 予 防 | 災 害 応 急 対 策 | 災 害 復 旧 | 災 害 復 興 |
|--|---------------------|--|---------------------|---------|
| 社団法人 兵庫県歯科 医師会 | | 1 災害時における緊急歯科医療 2 身元不明遺体の個 体識別 | | |
| 社団法人 兵庫県薬剤 師会 | | 1 災害時における医 療救護に必要な医薬 品の提供 2 調剤業務及び医薬 品の管理 | | |
| 獣医師会 社団法人兵庫県獣医 師会 社団法人神戸市獣医 師会 | | 災害時における動物救 護活動 | | |
| 一般社団法人 兵庫県エル ピーガス協会 | エルピーガス供給設 備の防災管理 | 1 エルピーガス供給 設備の応急対策の実 施 2 災害時におけるエ ルピーガスの供給 | 被災エルピーガス供 給設備の復旧 | |

第3節 兵庫県 の地形と地質

第1 趣旨

県の地形と地質の特徴を概観する。

第2 内容

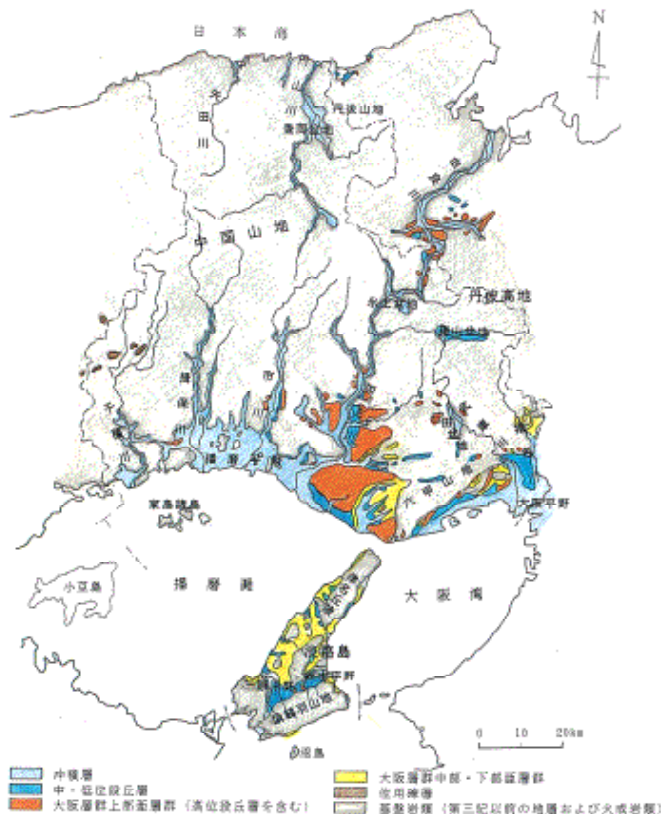
1 地形

兵庫県の地形は、北部は鳥取県・京都府にはさまれて日本海に面し、南部は岡山県から大阪府まで瀬戸内海に面し、台形状を呈している。その中央部やや北寄りに中国山脈の東端が西側から東西に走り、県土を南北に大きく二分している。

中国山地の中には、兵庫県最高峰の「氷の山」(標高 1,510m)をはじめとして、扇の山(1,310 m)・三室山(1,358 m)・日名倉山(1,047 m)等の山々が南北に連なり鳥取・岡山両県との県境を形づくり、更にそれらの東部には藤無山(1,139 m)・段ヶ峰(1,103 m)等が連なり、南北の分水嶺となっている。一方東端になるにつれて中国山地も次第になだらかになり、床尾山(839 m)・妙見山(662 m)が京都府・大阪府との境となっている。そして六甲山系(最高峰 932m)が東西約30km、南北約8 kmにわたり最南端を走っている。

このように南北に分断された本県の北部は、比較的勾配が急な地形を呈し、海岸も断崖の部分が多く、南部も六甲山系附近では急峻・懸崖である。それ以外の部分は比較的ゆるやかな地形であり、海岸線は西部の播磨灘海岸が一部沈降海岸で屈曲が多い以外は直線的で出入りは少ない。

河川については、比較的短くて急勾配のものが多く、日本海には円山川・矢田川など、瀬戸内海には猪名川・武庫川・加古川・市川・揖保川・千種川などが流入しており、その数は、一級5水系、二級93水系に及んでおり、そのなかでも特に六甲山水系では急勾配で周辺市街地に流れ込んでいる。



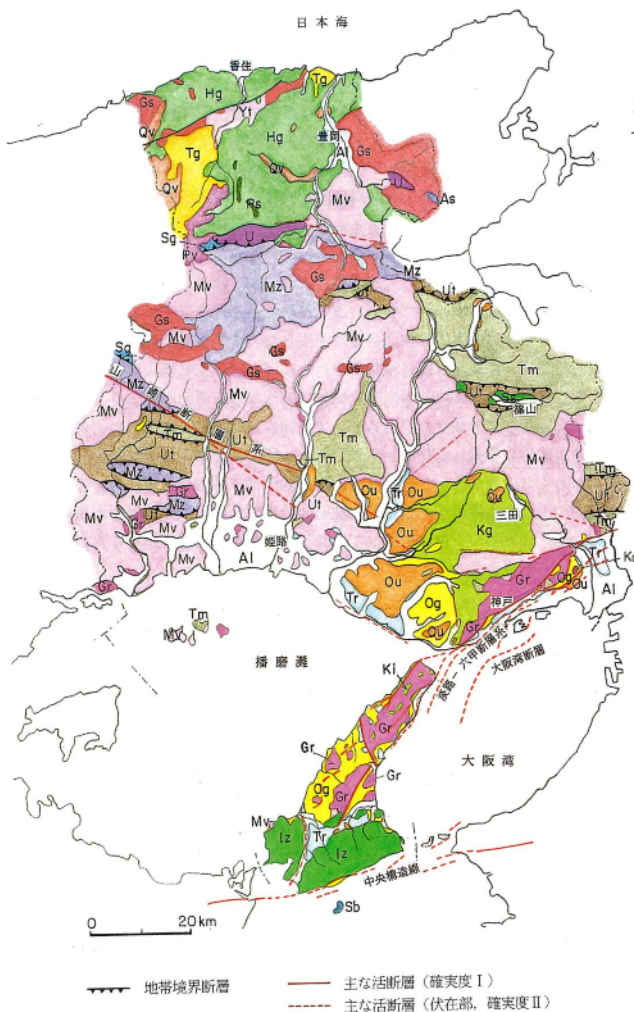
兵庫県における第四紀層の分布地域とおもな平野・盆地

出典：兵庫県の地質(兵庫県,1996)

2 地質

西南日本の地質構造は中央構造線を境にして、北側が西南日本内帯、南側が西南日本外帯に区分される。中央構造線は淡路島最南端を通過しており、県の大部分は西南日本内帯に属し、西南日本外帯は沼島付近のみである。県の内帯を構成する地質は、古生代～中生代に形成された堆積岩類や変成岩類、中生代白亜紀～新生代古代三紀の花崗岩類等からなっており、北から、三郡帯、舞鶴帯、丹波帯および領家帯と呼ばれている。

これらの基盤岩を被覆する新生代に形成された比較的新しい岩石類は、地域ごとに複雑な分布をなしている。但馬地域では新第三系の北但層群や照来層群が広く分布し、さらに新しい第四系火山の噴出による鉢伏、神鍋火山岩類が覆っている。これに対し出石地域では花崗岩類が卓越しており対照的である。生野を中心として東西に伸びる山地や加古川以西の西播山地はほとんどが中生代後期～新生代古第三紀の酸性火成岩および凝灰岩類からなる矢田川・生野・有馬諸層群が分布する。六甲山地や北淡山地の周辺には神戸層群や大阪層群などの新第三系～第四系の地層が分布し、段丘も発達している。淡路島南部には中生界の和泉層群が分布している。神戸市の背山である六甲山は、六甲変動と呼ばれる第四紀の地殻変動による激しい上昇運動と大阪湾の沈降運動によってできているため、多くの断層が走り、基岩の花崗岩は圧砕がはなはだしく、六甲山系全体が著しく風化している。

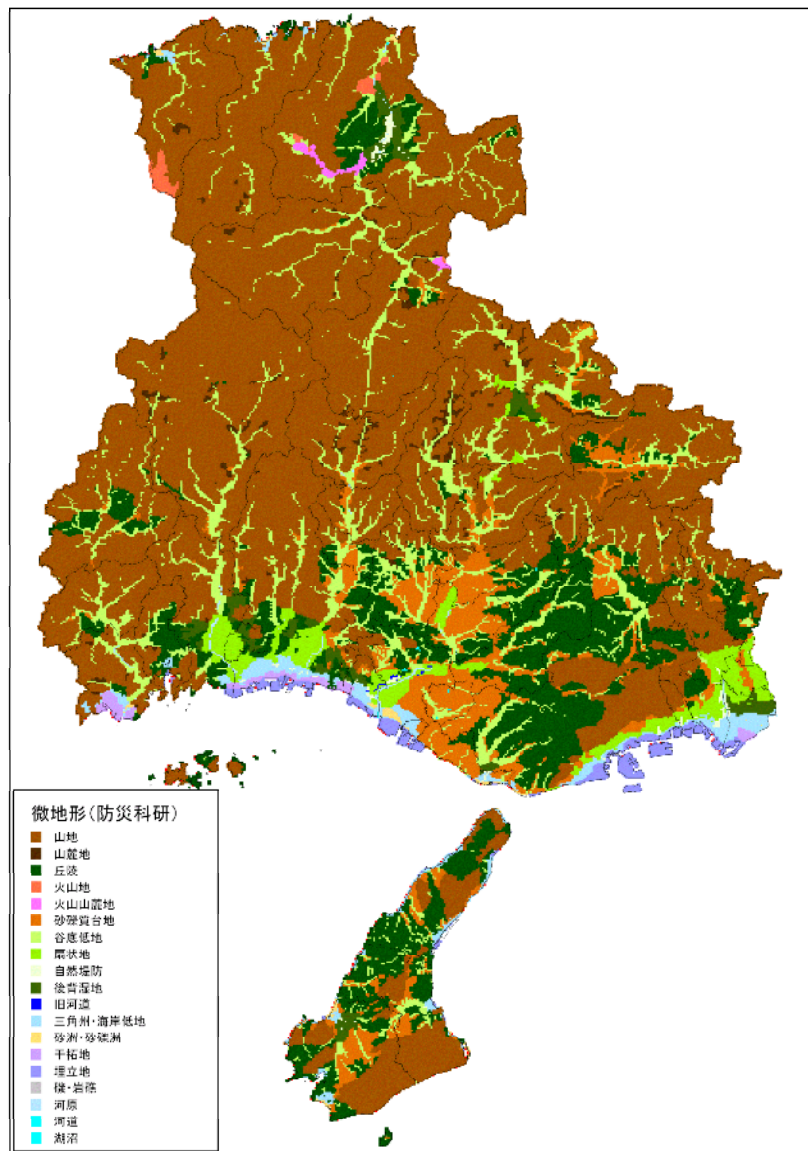


| 年代 (百万年) | 地質時代 | 主な地質・岩体 (但馬) (丹波・播磨) (六甲周辺) (淡路島・沼島) | 主な地史 |
|-------------|------|---|---|
| 0.01 | 第四紀 | 沖積層 段丘層 新第三系 第四系 | 六甲変動の発生 大阪層群の形成と六甲山地・淡路島の隆起。六甲新層系、山崎新層の形成（日本海側では、新断層による火山活動） |
| 1.7 | 新第三紀 | 新第三系 新第三系 | 日本海側の火山活動 但馬地域をはじめ日本海一帯に火山活動が発生（神戸内帯には、第1瀬戸内海が形成） |
| 5.1 | 中生代 | 中生代 中生代 | 内陸地域に陸塊盆地が形成 |
| 24 | 古第三紀 | 古第三紀 古第三紀 | 大規模な火成活動 激しい火山活動による酸性火山岩類（流紋岩類）の形成と花崗岩類の貫入（三波川層の上昇に伴う中央構造線の形成） |
| 35 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 140 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 210 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 247 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 289 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 367 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 416 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 446 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 571 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |
| 670 | 中生代 | 中生代 中生代 | ジュラ紀付加体の形成 海洋プレートの沈み込みに伴う付加体の形成と変成作用 |

参考：「兵庫県の地質」（1996年、兵庫県発行）

3 表層地盤

兵庫県は、中央に中国山地が位置しており、県面積の大半が山地や丘陵地である。一方、第四紀に形成された未固結の堆積層は、瀬戸内海側を中心とした大阪平野や播磨平野などに広く分布している。このほか、主な河川の上中流域には、氷上盆地、篠山盆地（以上加古川・由良川）、三田盆地（武庫川）、豊岡盆地（円山川）においても、盆地の地下には沖積層をはじめとした未固結の地層が分布している。また、主要河川沿いにも谷底低地が狭長に分布する。特に瀬戸内海川の河川では平野部に面して扇状地が形成されている。これらの河川沿いや大阪湾、播磨灘などの海岸沿いには更新世の段丘堆積物が分布している。このほか瀬戸内海に面した臨海地域には干拓や埋め立てによる人工地盤が分布している。



兵庫県の表層地盤

「地形・地盤分類 250m メッシュマップの全国版の構築」,若松加寿江・松岡昌志,日本地震工学会大会-2008 概要集,pp222-223,2008.11 に基づく

第4節 既往地震の概要

第1 趣旨

兵庫県の過去における地震の発生状況及び阪神・淡路大震災の概要をとりまとめる。

第2 内容

1 兵庫県内での地震災害の発生状況

有史以来、兵庫県のどこかに震度5弱以上を与えたと推定される地震は次のとおりである。県域の中では、南東部地域で震度5弱以上を経験する頻度が高くなっている。このなかで、20世紀だけをとってみると、北但馬地震(死者425人、負傷者806人)、南海地震(死者50人、負傷者69人)、兵庫県南部地震(死者6,402人、負傷者40,092人)の被害が大きい。

(第1表) 兵庫県のどこかに震度5弱以上を与えたと推定される地震

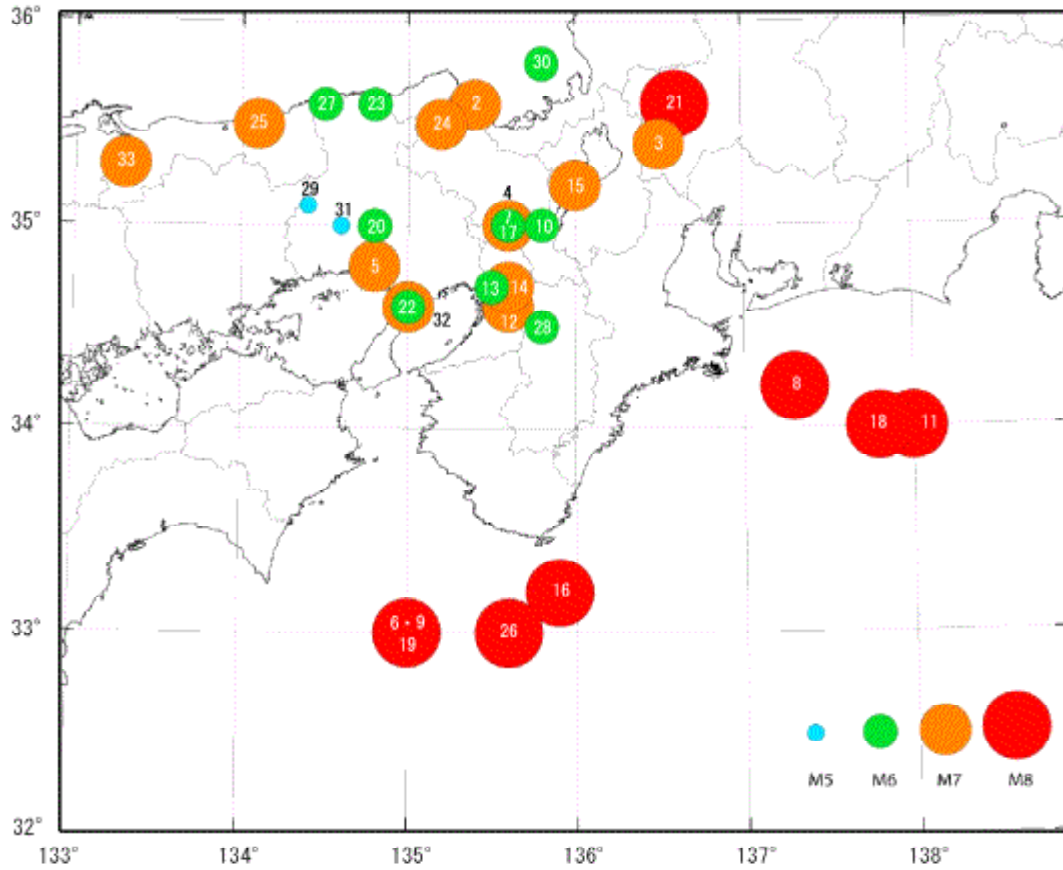
| 番号 | 発 生 年 月 日 | (推定)規模(M) | |
|----|-------------------------------|-----------------------------------|---------|
| 1 | 599. 5.28 (推古 7. 4.27) | 7.0 | |
| 2 | 701. 5.12 (大宝 1. 3.26) | 7.0 | |
| 3 | 745. 6.15 (天平 17. 4.27) | 7.9 | |
| 4 | 827. 8.11 (天長 4. 7.12) | 6.5~7.0 | |
| 5 | 868. 8. 3 (貞観 10. 7. 8) | 7.0以上 | 播磨国地震 |
| 6 | 887. 8.26 (仁和 3. 7.30) | 8.0~8.5 | |
| 7 | 938. 5.22 (承平8 (天慶1) . 4.15) | 7.0 | |
| 8 | 1096.12.17 (嘉保3 (永長1) .11.24) | 8.0~8.5 | |
| 9 | 1361. 8. 3 (正平 16. 6.24) | 8 _{1/4} ~8.5 | |
| 10 | 1449. 5.13 (文安6 (宝徳1) . 4.12) | 5 _{3/4} ~6.5 | |
| 11 | 1498. 9.20 (明応 7. 8.25) | 8.2~8.4 | |
| 12 | 1510. 9.21 (永正 7. 8. 8) | 6.5~7.0 | |
| 13 | 1579. 2.25 (天正 7. 1.20) | 6.0± _{1/4} | |
| 14 | 1596. 9. 5 (文録5 (慶長1) . 7.13) | 7 _{1/2} ± _{1/4} | |
| 15 | 1662. 6.16 (寛文 2. 5. 1) | 7 _{1/4} ~7.6 | |
| 16 | 1707.10.28 (宝永 4.10. 4) | 8.4 | 宝永地震 |
| 17 | 1751. 3.26 (寛延4 (宝暦1) . 2.29) | 5.5~6.0 | |
| 18 | 1854.12.23 (嘉永7 (安政1) .11. 4) | 8.4 | 安政東海地震 |
| 19 | 1854.12.24 (嘉永7 (安政1) .11. 5) | 8.4 | 安政南海地震 |
| 20 | 1864. 3. 6 (文久4 (元治1) . 1.28) | 6 _{1/4} | |
| 21 | 1891.10.28 (明治24) | 8.0 | 濃尾地震 |
| 22 | 1916.11.26 (大正5) | 6.1 | |
| 23 | 1925. 5.23 (大正14) | 6.8 | 北但馬地震 |
| 24 | 1927. 3. 7 (昭和2) | 7.3 | 北丹後地震 |
| | 1927. 3. 12 (昭和2) | 5.2 | 京都府沖 |
| 26 | 1946.12.21 (昭和21) | 8.0 | 南海地震 |
| 30 | 1963. 3.27 (昭和38) | 6.9 | 越前岬沖地震 |
| 32 | 1995. 1.17 (平成7) | 7.3 | 兵庫県南部地震 |
| 33 | 2000.10. 6 (平成12) | 7.3 | 鳥取県西部地震 |

(注1) は県内のいずれかに震度6以上を与えたと推定される地震

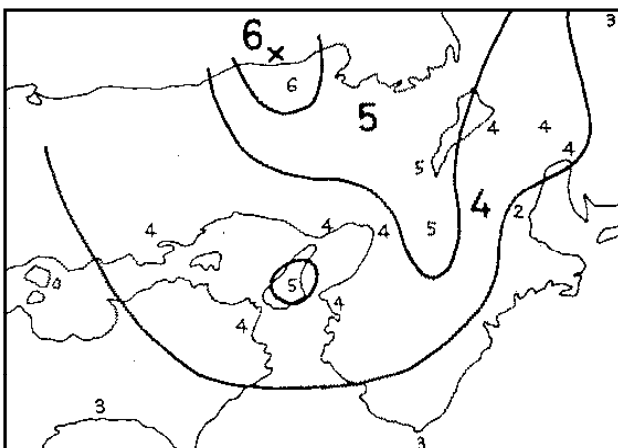
は県内のいずれかに震度7以上を与えた地震

(注2) なお、『鎮増私聞記』によると、1412年に播磨国で大きな地震が発生したとされている。

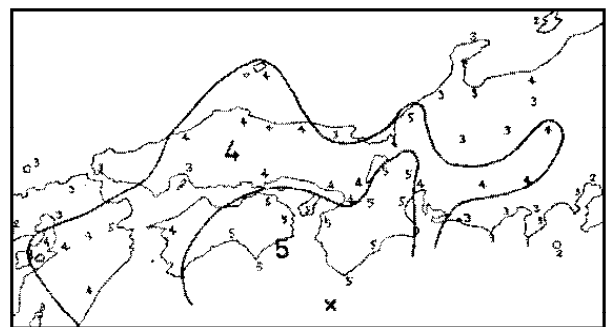
(第1図) 第1表に示された地震の震央



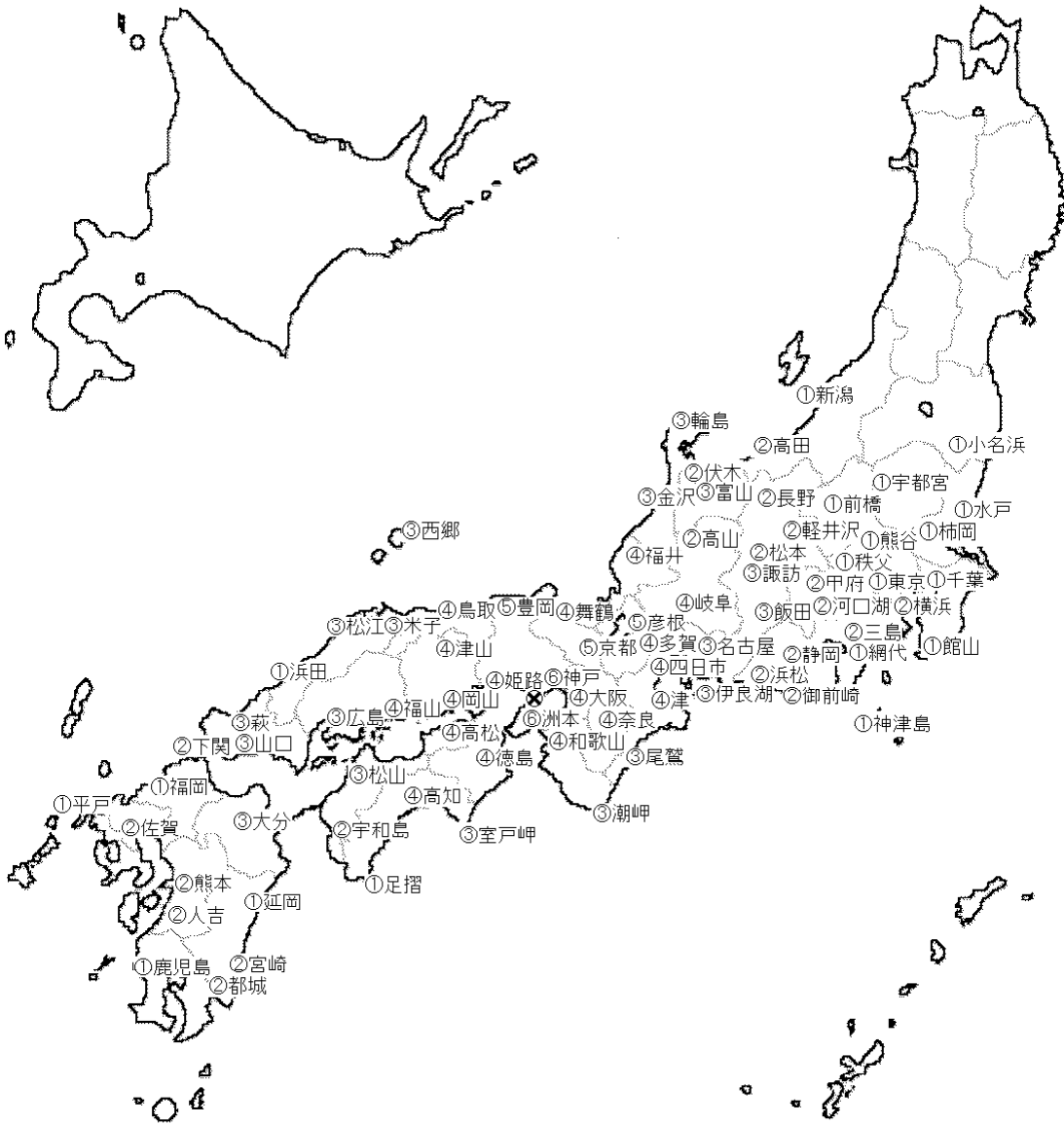
(第2図) 北但馬地震(第1表中23番)の震度分布



(第3図) 南海地震(第1表中26番)の震度分布

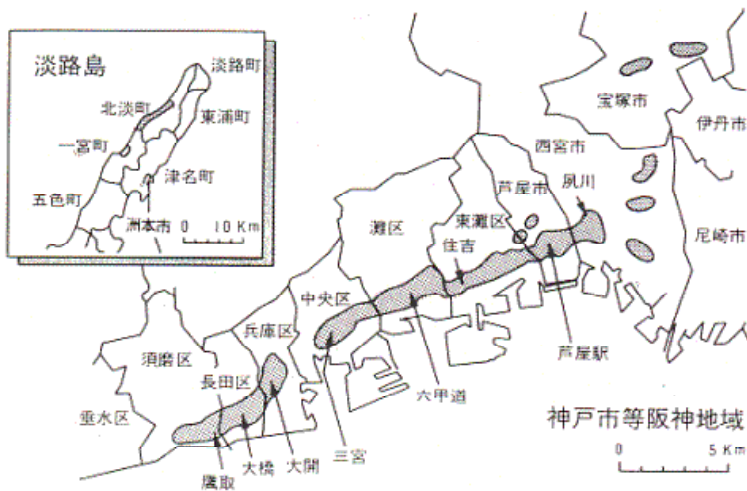


(第4図) 兵庫県南部地震(第1表中32番)の震度分布



注) 震度の観測は計測震度計による(計測震度計:地震動の加速度、周期、継続時間から震度を算出)

震度7の分布



2 兵庫県での津波の状況

兵庫県で観測された津波の主なものは、次の各表のとおりである。

検潮記録が得られるのは、近年のものに限られるが、古文書による次の記述にみられるように、ここに掲載した事例を上回るような津波があったことに留意する必要がある。

『日本被害津波総覧』（渡辺偉夫、平成10年、東京大学出版会発行）によれば、1854年12月24日の安政南海地震津波の被害として「大阪では木津川・安治川の26の橋破壊、水死 341人、道頓堀で路上に潮溢れ、東堀まで泥水上がる。堺では川筋に船流れ込み、橋 8カ所破壊。尼崎では内川の水面 1丈余増し、死者100余人、流失家屋60棟・・・」の記録があり、また、『兵庫県災害誌』（昭和29年）によれば、昭和21年12月21日の南海地震で観測された津波の高さは、第2表のとおりである。

神戸海洋気象台等による検潮記録については、第3表に掲げた。

（第2表）

| 地 震 | | | 津波（最大波高） |
|-------------|-------|-------|---|
| 発 生 年 月 日 | 地 震 名 | 震 源 | |
| 昭和21年12月21日 | 南海地震 | 紀伊半島沖 | 福良町250cm 由良町100cm 灘村 150cm 沼島村150cm 阿万町150cm 志筑町100cm |

（兵庫県災害誌（昭和29年）による）

（第3表）

| 番号 | 地 震 | | | 津波（最大波高） | |
|----|-------------|-----------|-------------|------------|------|
| | 発 生 年 月 日 | 地 震 名 | 震 源 | 神戸港 | 洲本港 |
| 1 | 昭和27年11月4日 | カムチャッカ地震 | カムチャッカ半島南東沖 | 記録なし | 19cm |
| 2 | 昭和35年5月23日 | チリ地震 | チリ沖 | 56cm | 59cm |
| 3 | 昭和38年10月13日 | 択捉島沖地震 | 択捉島南東沖 | 10cm | 3cm |
| 4 | 昭和39年3月28日 | アラスカ地震 | アラスカ南部 | 23cm | 14cm |
| 5 | 昭和40年2月4日 | アリューシャン地震 | アリューシャン列島中部 | 8cm | 4cm |
| 6 | 昭和43年4月1日 | 日向灘地震 | 日向灘 | 11cm | 5cm |
| 7 | 昭和58年5月26日 | 日本海中部地震 | 秋田県沖 | (津居山 54cm) | |
| 8 | 平成5年7月12日 | 北海道南西沖地震 | 北海道南西沖 | (舞鶴 70cm) | |
| 9 | 平成7年1月17日 | 兵庫県南部地震 | 大阪湾 | 6cm | - |
| 10 | 平成16年9月5日 | なし | 三重県南東沖 | 5cm | - |
| 11 | 平成21年1月4日 | なし | インドネシア・パプア | 8cm | - |
| 12 | 平成22年2月27日 | なし | チリ中部沿岸 | 21cm | 19cm |

兵庫県南部地震は欠測時間があり、記録された中での最大波高であり、実際の高さはこの記録より高い可能性があります。

1～6、9～12 神戸海洋気象台検潮記録による
 8 舞鶴海洋気象台検潮記録による
 *以上のデータは、「検潮概報」、「潮汐観測」より抜粋した。
 7 兵庫県編「兵庫県における災害（明治40年～昭和60年）」による

3 阪神・淡路大震災の概要

(1) 地震の発生状況

平成7年1月17日（火）、午前5時46分、兵庫県南部に震度6、場所によっては震度7の強い地震が発生し、この地域の地震としては、昭和27年に記録した震度4をはるかに上回る大きなものであった。

震源地 大阪湾 北緯34度36分 東経 135度02分
 震源の深さ 16km
 各地の震度 6（神戸、洲本） 5（豊岡） 4（姫路など）
 （神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、北淡町、一宮町、津名町の一部では震度7）
 マグニチュード 7.3
 最大加速度 818gal（南北成分、神戸海洋気象台）

(2) 地震の特徴

人口 350万人余が密集し、わが国の経済活動の中枢を担う淡路北部から神戸市及び阪神地域で発生した内陸・都市直下型地震であった。

深さ16kmという比較的浅い部分で発生し、断層が横にずれることにより起こったもので、大きなエネルギーが一挙に開放されるタイプであった。

(3) 被害の概要

被害の特徴

ア 大都市を直撃した大規模地震のため、電気、水道、ガスなど被害が広範囲となるとともに、鉄道、新幹線、高速道路、新交通システム、都市間交通、地下鉄が損壊し、ライフラインに潰滅的な打撃を与えた。

イ 古い木造住宅の密集した地域において、地震による大規模な倒壊、火災が発生し、特に神戸市兵庫区、長田区などでは大火災が発生した。

ウ 神戸・阪神地域という人口密集地で発生したため、多数の住民が避難所での生活を余儀なくされた。

県内被害概要（次頁参照）

| | | |
|----------------------------|----------|-----------|
| ア 災害救助法指定市町数 | | 10市10町 |
| イ 死者 | | 6,402名 |
| ウ 行方不明 | | 3名 |
| エ 負傷者 | | 40,092名 |
| オ 倒壊家屋 | 240,956棟 | 439,608世帯 |
| カ 避難箇所数・人数（ピーク時、平成7年1月23日） | 1,153箇所 | 316,678人 |

被害の概要（総括表）

（平成18年5月19日確定）

| 区 分 | | | 兵庫県 | 参考（全国） | |
|-----------|--------|------|----------------|---------|---------|
| 人的被害 | 死者 | | 人 | 6,402 | 6,434 |
| | 行方不明者 | | 人 | 3 | 3 |
| | 負傷者 | 重 傷 | 人 | 10,494 | 10,683 |
| | | 軽 傷 | 人 | 29,598 | 33,109 |
| | | 負傷者計 | 人 | 40,092 | 43,792 |
| 住家被害 | 全 壊 | | 棟 | 104,004 | 104,906 |
| | | | 世帯 | 182,751 | 186,175 |
| | 半 壊 | | 棟 | 136,952 | 144,274 |
| | | | 世帯 | 256,857 | 274,182 |
| | 一部破損 | | 棟 | 297,811 | 390,506 |
| | 住家被害計 | | 棟 | 538,767 | 639,686 |
| 非住家 | 公共建物 | | 棟 | 1,097 | 1,579 |
| | その他 | | 棟 | 39,821 | 40,917 |
| 公共施設等 | 文教施設 | | 箇所 | 1,079 | 1,875 |
| | 道 路 | | 箇所 | 5,577 | 7,245 |
| | 橋りょう | | 箇所 | 322 | 330 |
| | 河 川 | | 箇所 | 763 | 774 |
| | 崖くずれ | | 箇所 | 335 | 347 |
| | ブロック塀等 | | 箇所 | 1,472 | 2,468 |
| 火災件数 | 建物火災 | | 件 | 236 | 269 |
| | 車両火災 | | 件 | 9 | 9 |
| | その他火災 | | 件 | 14 | 15 |
| | 火災件数 | | 件 | 259 | 293 |
| 焼損床面積 | | | m ² | 833,346 | 835,858 |
| 焼損棟数 | 全 焼 | | 棟 | 7,035 | 7,036 |
| | 半 焼 | | 棟 | 89 | 96 |
| | 部 分 焼 | | 棟 | 313 | 333 |
| | ぼ や | | 棟 | 97 | 109 |
| | 焼損棟数 | | 件 | 7,534 | 7,574 |
| り災世帯数（火災） | | | 世帯 | 8,908 | 8,969 |

被害の概要(市町別内訳)

| 区 分 | 死 者 | 行方 不明 | 負 傷 者 | | | 全 壊 | | 半 壊 | | 焼損棟数 | |
|------|-------|----------|--------|--------|--------|----------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 重 傷 | 軽 傷 | 合 計 | 棟 数 | 世帯数 | 棟 数 | 世帯数 | 全 焼 | 半 焼 |
| 神戸市 | 4,564 | 2 | 6,300 | 8,378 | 14,678 | 61,800 | 113,571 | 51,125 | 119,631 | | |
| 尼崎市 | 49 | 0 | 1,009 | 6,136 | 7,145 | 5,688 | 11,034 | 36,002 | 51,540 | | |
| 西宮市 | 1,126 | 1 | 1,643 | 4,743 | 6,386 | 20,667 | 34,042 | 14,597 | 27,072 | | |
| 芦屋市 | 443 | 0 | 551 | 2,624 | 3,175 | 3,915 | 7,739 | 3,571 | 9,927 | | |
| 伊丹市 | 22 | 0 | 226 | 2,490 | 2,716 | 1,395 | 2,434 | 7,499 | 14,373 | | |
| 宝塚市 | 117 | 0 | 393 | 1,808 | 2,201 | 3,559 | 5,541 | 9,313 | 14,819 | | |
| 川西市 | 4 | 0 | 75 | 476 | 551 | 554 | 659 | 2,728 | 3,057 | | |
| 三田市 | 0 | 0 | 0 | 23 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 猪名川町 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 明石市 | 11 | 0 | 139 | 1,745 | 1,884 | 2,941 | 4,239 | 6,673 | 10,957 | | |
| 加古川市 | 2 | 0 | 4 | 11 | 15 | 0 | 0 | 13 | 13 | | |
| 三木市 | 1 | 0 | 2 | 17 | 19 | 24 | 25 | 94 | 113 | | |
| 高砂市 | 1 | 0 | 4 | 4 | 8 | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| 小野市 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 吉川町 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | | |
| 東条町 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 稲美町 | 0 | 0 | 0 | 11 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 播磨町 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 11 | 16 | | |
| 加西市 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 姫路市 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| 香住町 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 日高町 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 柏原町 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | | |
| 氷上町 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 洲本市 | 4 | 0 | 6 | 38 | 44 | 17 | 17 | 663 | 663 | | |
| 津名町 | 5 | 0 | 23 | 19 | 42 | 603 | 603 | 893 | 893 | | |
| 淡路町 | 1 | 0 | 6 | 51 | 57 | 333 | 333 | 668 | 668 | | |
| 北淡町 | 39 | 0 | 59 | 811 | 870 | 1,056 | 1,056 | 1,218 | 1,218 | | |
| 一宮町 | 13 | 0 | 16 | 146 | 162 | 765 | 765 | 736 | 736 | | |
| 五色町 | 0 | 0 | 3 | 14 | 17 | 186 | 186 | 269 | 269 | | |
| 東浦町 | 0 | 0 | 21 | 25 | 46 | 319 | 325 | 461 | 469 | | |
| 緑 町 | 0 | 0 | 7 | 7 | 14 | 18 | 18 | 49 | 54 | | |
| 西淡町 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 | 136 | 136 | 178 | 178 | | |
| 三原町 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 18 | 18 | 119 | 119 | | |
| 南淡町 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 | 9 | 9 | 69 | 69 | | |
| 合 計 | 6,402 | 3 | 10,494 | 29,598 | 40,092 | 104,004 | 182,751 | 136,952 | 256,857 | 104,004 | 136,952 |
| | | | | | | 倒壊家屋 240,956(倒壊世帯 439,608) | | | | | |

市町名は阪神・淡路大震災当時

キ ライフラインの状況

| 区 分 | 震 災 直 後 | 復 旧 状 況 |
|-------|---------------------------------------|------------------------|
| 電 気 | 約 260万戸停電 (大阪府北部を含む) | 1月23日倒壊家屋等を除き復旧完了 |
| ガ ス | 約84万5千戸が供給停止 | 4月11日倒壊家屋等を除き復旧完了 |
| 水 道 | 約 127万戸が断水 | 2月28日仮復旧完了 4月17日全戸通水完了 |
| 下 水 道 | 被災管渠総延長 約 260km | 4月20日復旧完了 (排水機能) |
| 電 話 | 交換機系 約28万5千回線 加入者系 約19万3千回線 が不通 | 1月18日復旧完了 1月31日復旧完了 |

ク 道路の状況

| 区 分 | 震災直後不通区間 | 復 旧 状 況 |
|------------------------------------|-----------------------------|---|
| 阪神高速道路 (神戸線) (湾岸線) (北神戸線) | 全 線 全 線 全 線 | 平成 8 年 9 月 30 日 平成 7 年 9 月 1 日 平成 7 年 2 月 25 日 |
| 名神高速道路 第二神明道路 中国自動車道 | 西宮～府県境 伊川谷～須磨 西宮北～府県境 | 平成 7 年 7 月 29 日 平成 7 年 2 月 25 日 平成 7 年 7 月 21 日 |
| 国道 4 3 号 国道 2 号 | 西宮～岩屋 若宮～岩屋 | 平成 7 年 1 月 17 日 平成 7 年 1 月 17 日 |

ケ 鉄道の状況

| 区 分 | 震災直後不通区間 (km) | 復 旧 状 況 |
|--------------------|----------------|-----------|
| J R 新幹線 | 京都～姫路 (130.7) | 平成7年4月8日 |
| J R (東海道・山陽本線) | 尼崎～西明石 (48.2) | 平成7年4月1日 |
| (福知山線) | 塚口～広野 (37.2) | 平成7年1月21日 |
| (和田岬線) | 全 線 (2.7) | 平成7年2月15日 |
| 阪 神 (本線) (武庫川線) | 甲子園～元町 (18.0) | 平成7年6月26日 |
| | 全 線 (1.7) | 平成7年1月26日 |
| 阪 急 (神戸線) | 西宮北口～三宮 (16.7) | 平成7年6月12日 |
| (甲陽線) | 全 線 (2.2) | 平成7年3月1日 |
| (伊丹線) | 全 線 (3.1) | 平成7年3月11日 |
| (今津線) | 全 線 (9.3) | 平成7年2月5日 |
| 神 鉄 (有馬線) | 全 線 (22.5) | 平成7年6月22日 |
| (三田線) | 全 線 (12.0) | 平成7年1月19日 |
| (粟生線) | 全 線 (29.2) | 平成7年1月19日 |
| 山 陽 | 西代～明石 (15.7) | 平成7年6月18日 |
| 神戸高速 (東西線) | 全 線 (7.2) | 平成7年8月13日 |
| (南北線) | 全 線 (0.4) | 平成7年6月22日 |
| 神戸市営地下鉄 神戸新交通 | 板宿～新神戸 (8.8) | 平成7年2月16日 |
| (ポートライナー) | 全 線 (6.4) | 平成7年7月31日 |
| (六甲ライナー) | 全 線 (4.5) | 平成7年8月23日 |

コ 港湾の状況

(平成18年4月1日現在)

| 公 共 岸 壁 | 震災前の 全体パー ス数 | 震災直後 の着岸不 能バス | 着岸可能 バス | 着岸不能 バス | 減少 バス |
|---------|--------------------|---------------------|------------|------------|----------|
| 神戸港 | 186 | 186 | 170 | - | 16 |
| 尼崎西宮芦屋港 | 10 | 10 | 9 | * 1 | 0 |

* 整備中バス

なお、減少バスとは、海運の近代化等に対応するよう、突堤間の埋立による再整備に伴い減少したものの。

サ 被害総額の状況（推計）

| 項 目 | 金 額 | 概 要 （単位：億円） |
|-----------------------|---------------|--|
| 1 建築物 | 約 5 兆 8,000億円 | 倒壊・使用不能建物 等 〔*注：建築着工統計の建築単価から推計〕 |
| 2 鉄 道 | 約 3,439億円 | J R 西日本・阪急電鉄・阪神電鉄・神戸電鉄・山陽電鉄 等 |
| 3 高速道路 | 約 5,500億円 | 阪神高速道路・中国縦貫自動車道路・名神高速道路 等 |
| 4 公共土木施設 (高速道路を除く) | 約 2,961億円 | 道路 約1,181、河川 約369、海岸 約4、砂防 約7 下水道 約698、街路 約36、公園 約140、国営直轄事業 約526 |
| 5 港 湾 | 約 1 兆円 | 神戸港、尼崎西宮芦屋港等公共施設 約7,600 民間施設 約2,400 |
| 6 埋立地 | 約 64億円 | 佐野、志筑地区 約7、南芦屋浜、芦屋浜地区 約40 西宮、甲子園地区 約17 |
| 7 文教施設 | 約 3,352億円 | 県立学校 約141、市町立学校 約1,705、社会教育施設 約362 体育施設等 約139、文化財 約99、県立大学 約3 私立学校 約340、国公立大学 約91、私立大学 約379 文化施設（公立ホール等）約93 |
| 8 農林水産関係 | 約 1,181億円 | 農地・ため池等 約244、治山施設 約82、漁港 約199 農業生産施設等 約105、水産業施設 約48、林産施設 約17 卸売市場 約245、食品関係施設等 約241 |
| 9 保健医療・ 福祉関係施設 | 約 1,733億円 | 病院 約666、診療所 約274、試験研究機関 約9 看護学校 約19、火葬場 約11、保健センター等 約28 福祉関係施設 約404、生活協同組合施設 約322（医療除く） |
| 10 廃棄物処理・ し尿処理施設 | 約 44億円 | |
| 11 水道施設 | 約 541億円 | 上水道 約493、工業用水道 約48 |
| 12 ガス・電気 | 約 4,200億円 | ガス 約1,900、電気 約2,300 |
| 13 通信・ 放送施設 | 約 1,202億円 | 電気通信施設 約984（うちN T T 約800）、放送施設 約35 ケーブルテレビ 約175、兵庫衛星通信 約8 |
| 14 商工関係 | 約 6,300億円 | 機械・装置等設備 約6,300（建築物 1兆 7,700除く） |
| 15 その他の 公共施設等 | 約 751億円 | 県庁舎等 約136、市町庁舎等 約515、警察庁舎等 約100 |
| 計 | 約 9 兆 9,268億円 | |

第5節 地震災害の危険性と被害の特徴

第1 趣旨

過去の地震災害の状況や中央防災会議、地震調査研究推進本部の調査研究を基に、兵庫県内で発生しうる地震被害を想定した。

第2 内容

1 地震発生の危険性

(1) 海溝型巨大地震 ー 南海地震

紀伊水道沖ではM 8を超える南海地震が繰り返し発生しており、古文書等で 684年、887年、1099年、1361年、1605年、1707年、1854年、1946年に起きたことが知られている。こうした意味で、比較的サイクルがわかっている地震である。

前回の「南海地震」からは既に65年以上経過しており、前回の規模が比較的小さかったことから、今回は比較的早まるのではないかという意見もあり、発生時には広範囲に及ぶ被害が予想される。

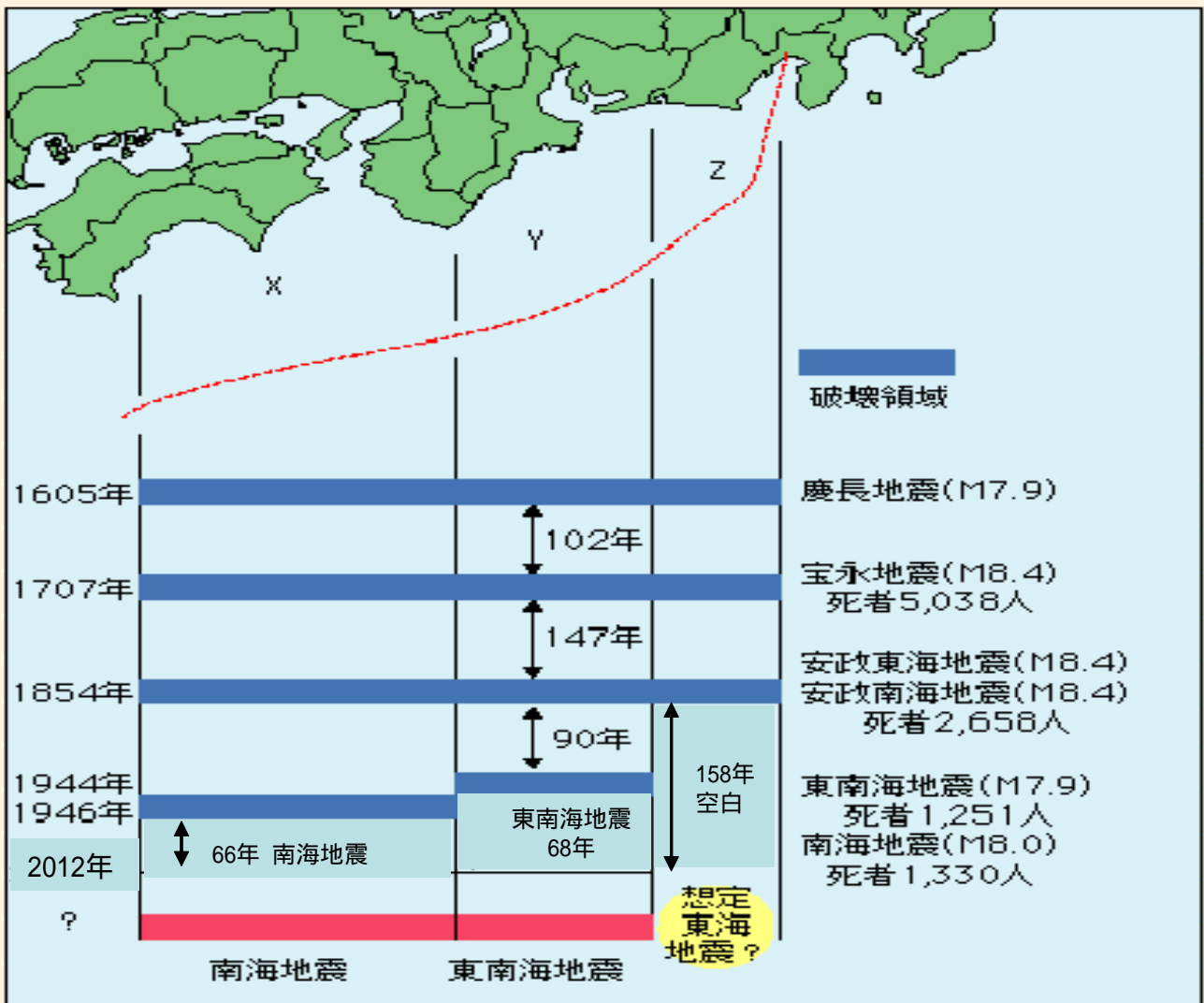
また、南海地震が起きる直前若しくは2年程度前に震源より東の海上で大地震が発生するパターンが注目される。(1854-1854、1944-1946 など)

なお、南海トラフの海溝型地震における以下の被害想定等は、従来の知見に基づくものであり、東日本大震災を踏まえた中央防災会議の検討結果を踏まえた最大クラスの地震・津波については、同検討結果の検証後、新たな被害想定を行うこととする。

(参考)地震調査研究推進本部地震調査委員会の長期評価
(海溝型地震の今後10, 30, 50年以内の地震発生確率：算定基準日平成24年(2012年)1月1日)

| 領域または地震名 | | 長期評価で予想した地震規模(マグニチュード) | | 地震発生確率 | | | 地震後経過率 | 平均発生間隔(上段) |
|----------|-------|------------------------|-------------|--------|-------|-----------------------|--------|-----------------------------------|
| | | | | 10年以内 | 30年以内 | 50年以内 | | 最新発生時期 下段：ポアソン過程を適用したものを除く |
| 南海トラフの地震 | 南海地震 | 8.4前後 | 同時 8.5前後 | 20%程度 | 60%程度 | 90%程度 | 0.72 | 114.0年(次回までの標準的な値90.1年) 65.0年前 |
| | 東南海地震 | 8.1前後 | | 20%程度 | 70%程度 | 90%程度 もしくは それ以上 | 0.78 | 111.6年(次回までの標準的な値86.4年) 67.1年前 |

(参考) 東海地震と東南海・南海地震との関係



(2) 内陸部地震

内陸部の地震、いわゆる直下型地震の原因となる活断層は、地質時代後半に発生又は動いた断層で、今後も活動すると考えられる断層であるが、その多くは、過去の活動状況がよくわかっていない。日本列島は、この時代に際立った地殻変動を受け、それが今なお続いており、特に中部地方から近畿地方にかけては東西方向の歪み力を受けて、おびただしい数の活断層が分布している。なかでも、兵庫県内には六甲・淡路島断層帯、有馬 - 高槻断層帯、山崎断層帯、中央構造線断層帯、また、県外にも上町断層帯など多くの活断層が分布しており、兵庫県での強い揺れが想定される。1995年の兵庫県南部地震により、こうした活断層による危険性について、一般に強く認識されることとなった。

【兵庫県内にある主要な活断層】

山崎断層帯

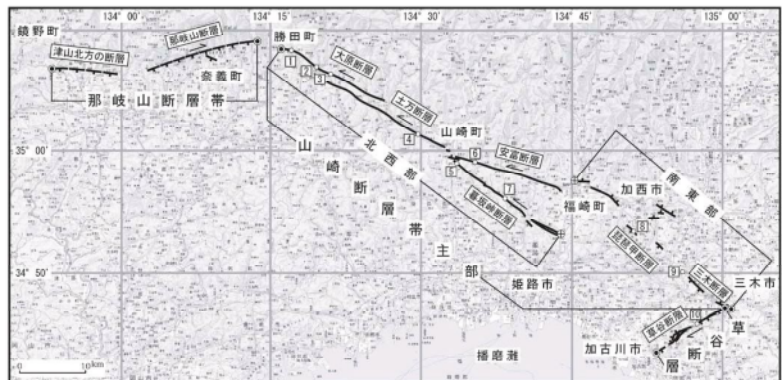
【断層帯の位置および形態】

山崎断層帯は、那岐山（なぎせん）断層帯、山崎断層帯主部、草谷断層の3つの起震断層に区分される。那岐山断層帯は、岡山県苫田（とまた）郡鏡野町から岡山県勝田郡奈義（なぎ）町に至る断層帯である。長さは約32kmで、ほぼ東西方向に延びており、断層帯の北側が南側に対して相対的に隆起する断層帯である。山崎断層帯主部は、岡山県勝田郡勝田町から兵庫県三木市に至る断層帯で、ほぼ西北西-東南東方向に一連の断層が連なるように分布している。全体の長さは約80kmで、主として左横ずれがの断層帯である。草谷断層は、兵庫県三木市から兵庫県加古川市にかけて分布する断層で、東北東-西南西方向に延びる主として右横ずれの断層である。

なお、山崎断層帯主部は、兵庫県姫路市より北西側と兵庫県神崎（かざき）郡福崎（ふくさき）町より南東側とはそれぞれ最新活動時期が異なる。



山崎断層帯の概略位置図



1: 観測地点 2: 古観測地点 3: 西観測地点 4: 青木観測地点 5: 川戸観測地点
6: 安志観測地点 7: 護持観測地点 8: 足腰甲観測地点 9: 大島観測地点 10: 草谷観測地点
●: 断層帯の両端 中: 北西部及び南東部の境界
活断層の位置は文献1、8、9及び10に基づく。
基図は国土地理院発行数値地図20000「京都及大阪」「姫路」及び「高梁」を使用。

山崎断層帯の活断層位置図

（参考）地震調査研究推進本部地震調査委員会の長期評価

| 区 間 | 将来の活動時の地震規模 (M) | 地震発生確率 | | | 平均活動間隔 (上段) と最新活動時期 (下段) |
|----------|-----------------|-----------------------|---------------|---------------|---------------------------------------|
| | | 30年以内 | 50年以内 | 100年以内 | |
| 主部 (南東部) | 7.3程度 | 0.03% ~ 5% 高い | 0.06% ~ 8% | 0.2% ~ 20% | 3000年程度 ----- 約3600年前 ~ 6世紀 |
| 主部 (北西部) | 7.7程度 | 0.09% ~ 1% やや高い | 0.2% ~ 2% | 0.4% ~ 4% | 約1800 ~ 2300年程度 ----- 868年播磨国地震 |
| 草谷断層 | 6.7程度 | ほぼ0% | ほぼ0% | ほぼ0% | 5000年程度 ----- 5 ~ 12世紀 |

（評価時点は全て平成24年1月1日現在）
今後30年以内の発生確率の欄に記載したグループ分けは、今後30年の間に地震が発生する可能性について、我が国の主な活断層の中での位置づけを表したものであり、確率の最大値が3%以上は、「高いグループ」、0.1%以上3%未満は、「やや高いグループ」に属する。

中央構造線断層帯

【断層帯の位置および形態】

中央構造線断層帯は、奈良県香芝（かしば）市から五條市、和歌山県和歌山市、淡路島の兵庫県南あわじ市（旧南淡町）の南方海域を経て、徳島県鳴門市から愛媛県伊予市まで四国北部をほぼ東西に横断し、伊予灘に達している。断層はさらに西に延びるが、ここでは佐田岬北西沖付近よりも東側を評価の対象とした。全体として長さは約360kmで、右横ずれを主体とし、上下方向のずれを伴う断層帯である。

なお、中央構造線断層帯は連続的に分布しており、断層の形状のみから将来の活動区間を評価するのは困難である。ここでは主に過去の活動時期から6つの区間に区分したが、これらの区間が個別に活動する可能性や、複数の区間が同時に活動する可能性、さらにはこれら6つの区間とはのことなる範囲が活動する可能性も否定できない。

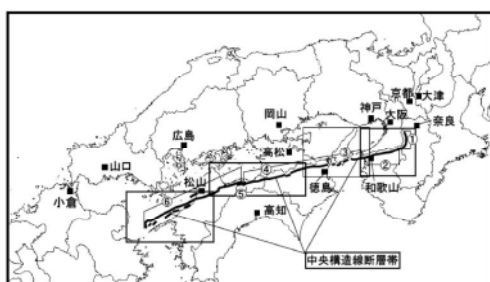


図1-1 中央構造線断層帯の概略位置図
(東方形は図2-1～図2-4の範囲)
①：金剛山断層線 ②：和歌山断層線 ③：紀淡海峡-鳴門海峡
④：讃岐山脈南縁-石籠山脈北縁東部 ⑤：石籠山脈北縁
⑥：石籠山脈北縁西部-伊予灘

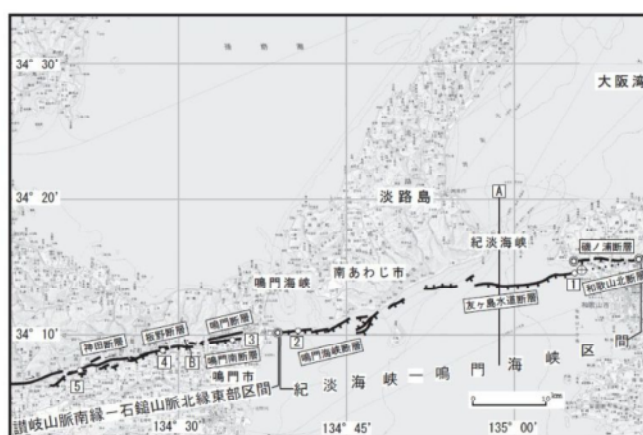


図2-2 中央構造線断層帯の活断層位置と主な調査地点
1：紀淡海峡地点 2：鳴門海峡地点 3：段岡・大代地点 4：川端A、B地点
5：熊谷寺東南地点
A：文献39 B：文献34
活断層の位置は文献4、11、14、17、22に基づく。
.....：活断層が地表に現れていない区間
◎：活動区間の異端および境界
⊕：紀淡海峡-鳴門海峡の活動区間のうち、第四紀後期における活動性が確かめられている区間の東端
基図は国土院発行数値地図200000「和歌山」及び「徳島」を使用。

中央構造線断層帯の概略位置図

中央構造線断層帯（兵庫県付近）の活断層位置図

（参考）地震調査研究推進本部地震調査委員会の長期評価

| 区 間 | 将来の活動時の 地震規模 (M) | 地 震 発 生 確 率 | | | 平均活動間隔 (上段) と 最新活動時期 (下段) |
|-----------------|---------------------|------------------------|----------------|-----------|--|
| | | 30年以内 | 50年以内 | 100年以内 | |
| 紀淡海峡 - 鳴門 海峡 | 7.7程度 | 0.005% ～ 1% やや高い | 0.009% ～ 2% | 0.02%～ 4% | 約4000～6000年 ----- 約3100年前～2600年前 |

（評価時点は全て平成24年1月1日現在）

六甲・淡路島断層帯

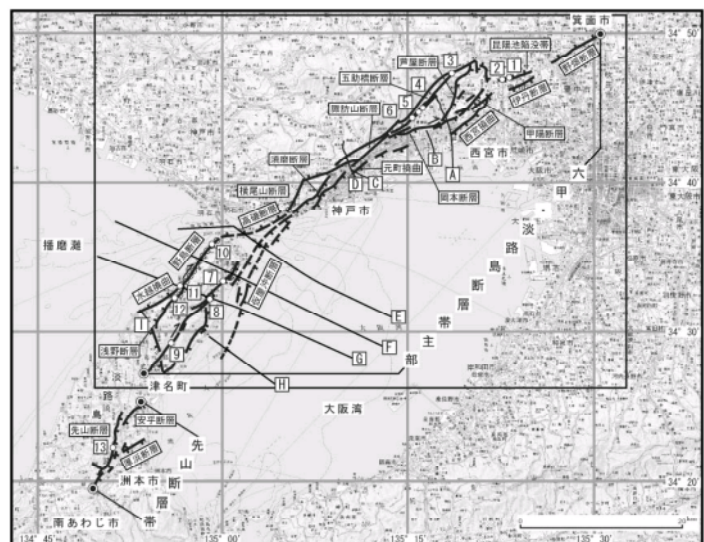
【断層帯の位置および形態】

六甲・淡路島断層帯は、大阪府箕面（みのお）市から兵庫県西宮市、神戸市などを経て淡路島北部に至る六甲・淡路島断層帯主部と淡路島中部の洲本市から南あわじ市に至る先山断層帯からなる。六甲・淡路島断層帯主部は、断層の分布形態や過去の活動時期の違いなどから、長さ約71kmの六甲山地南縁 - 淡路島東岸区間および長さ約23kmの淡路島西岸区間の2つに区分される。六甲・淡路島断層帯主部の全体の長さは約71kmでほぼ北東 - 南西方向に延びる。このうち、六甲山地南縁 - 淡路島東岸区間では、右横ずれを主体とし、北西側が相対的に隆起する逆断層成分を伴う。一方、淡路島西岸区間では、右横ずれを主体とし、南東側が相対的に隆起する逆断層成分を伴う。先山断層帯は、長さが約12kmで、北西側が相対的に隆起する逆断層である。

1995年（平成7年）の兵庫県南部地震では、淡路島西岸区間と六甲山地南縁 - 淡路島東岸区間のうちの、西宮市から明石海峡にかけての全長約30kmの範囲の地下で活動し、甚大な被害を生じた。淡路島西岸区間では断層活動が地表まで達し明瞭な地表地震断層が出現したほか、六甲山地南縁においては余震活動や地震波形の観測・解析等から地下において断層活動が起こったことが明らかになっている。ただし、六甲山地南縁において、測量観測とそれを基に解析された地殻変動は、六甲山地南縁 - 淡路島東岸区間全域には及んでおらず、変動量も淡路島西岸区間沿いに比べて小さかった。また、断層を挟んでの地殻変動も、淡路島西岸区間沿いほどは顕著でなかった。これらのことより、兵庫県南部地震を淡路島西岸区間においては最大規模（以下、固有規模と記す）の地震と見なして最新活動としたが、六甲山地南縁 - 淡路島東岸区間においては固有規模の地震よりひとまわり小さい地震とみなして最新活動ではないと評価した。



六甲・淡路島断層帯の概略位置図



- 1 : 中野西地点 2 : 西野地点 3 : 逆瀬川上流地点 4 : 西滝ヶ谷地点 5 : 五助塚地点
 6 : 住吉山手地点 7 : 楠本地点 8 : 馬場地点 9 : 興隆寺地点 10 : 江崎地点
 11 : 梨本地点 12 : 石田地点 13 : 安坂地点
 A - I : 反射弾性波探査測線
 A : 文献18 B : 文献6 D : 文献10 E : 文献19
 F : 文献17 G : 文献15 H : 文献1 I : 文献5
 ● : 断層帯の両端 ○ : 1995年の地表地震断層
 断層の位置は文献1, 5, 9, 14及び17に基づく。
 基図は国土地理院発行数値地図200000「京都及大阪」「和歌山」「姫路」「徳島」を使用。

六甲・淡路島断層帯の位置図

(参考) 地震調査研究推進本部地震調査委員会の長期評価

| 区 間 | 将来の活動時の 地震規模 (M) | 地 震 発 生 確 率 | | | 平均活動間隔 (上段) と 最新活動時期 (下段) |
|-------------------------------|---------------------|----------------------|--------------|--------------|--|
| | | 30年以内 | 50年以内 | 100年以内 | |
| 主部 (六甲山地 南縁 - 淡路島東 岸区間) | 7.9程度 | ほぼ0% ~ 1% やや高い | ほぼ0% ~ 2% | ほぼ0% ~ 5% | 900年 ~ 2800年程度 ----- 16世紀 |
| 主部 (淡路島西 岸区間) | 7.1程度 | ほぼ0% | ほぼ0% | ほぼ0% | 1800年 ~ 2500年程度 ----- 1995年兵庫県南部地震 |
| 先山断層帯 | 6.6程度 | ほぼ0% | ほぼ0% | ほぼ0% | 5000年 ~ 10000年程度 ----- 11世紀 ~ 17世紀初頭 |

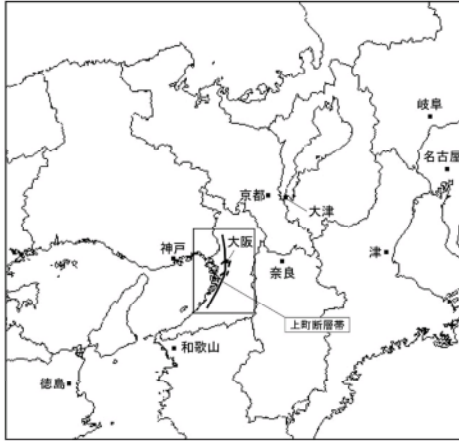
(評価時点は全て平成24年1月1日現在)

【兵庫県外にある主要な活断層】

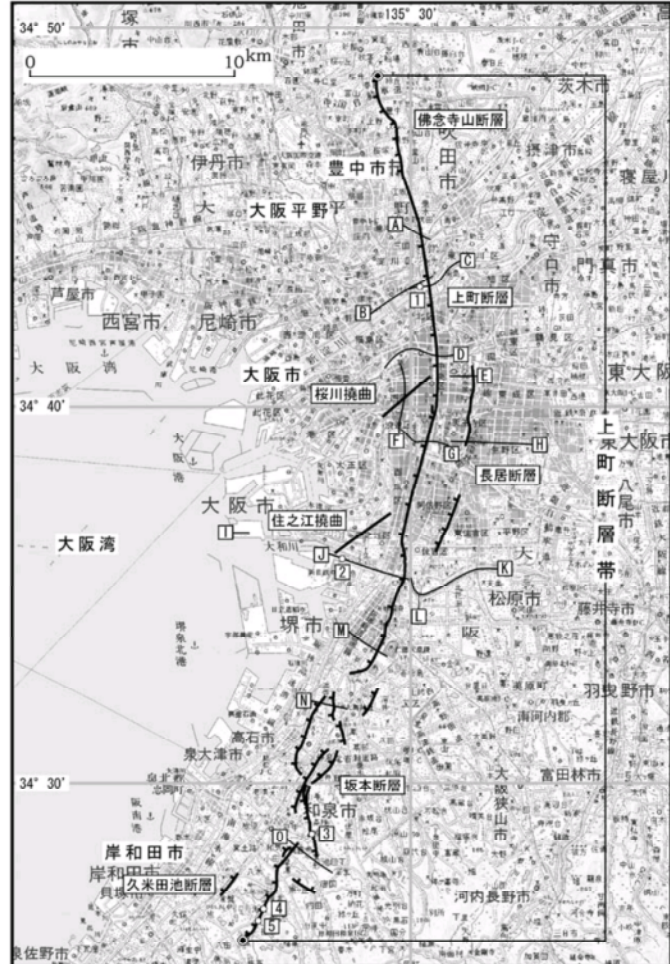
上町断層帯

【断層帯の位置および形態】

上町断層帯は、大阪府豊中市から大阪市を経て岸和田市に至る断層帯である。全体として長さは約42kmで、ほぼ南北方向に延びており、断層帯の東側が西側に乗り上げる逆断層である。



上町断層帯の概略位置図



1：新淀川北岸地点 2：大和川南岸地点 3：阪本地点 4：岡山地点 5：尾生地点
 A-O：反射法弾性波探査測線
 A, J, M, N：文献18 B：文献6 C：文献23 D, E, I：文献24 F, G, H：文献14
 K：文献22 L：文献5 O：文献15
 ●：断層帯の北端と南端
 活断層の位置は文献7, 9-11及び17に基づく。
 基図は国土地理院発行数値地図200000「京都及大阪」「和歌山」を使用。

上町断層帯の活断層位置図

(参考) 地震調査研究推進本部地震調査委員会の長期評価

| 区 間 | 将来の活動時の地震規模 (M) | 地震発生確率 | | | 平均活動間隔 (上段) と最新活動時期 (下段) |
|-------|-----------------|---------------|---------|----------|-------------------------------------|
| | | 30年以内 | 50年以内 | 100年以内 | |
| 上町断層帯 | 7.5程度 | 2% ~ 3% 高い | 3% ~ 5% | 6% ~ 10% | 8000年程度 ----- 約28000年前-9000年前 |

(評価時点は全て平成24年1月1日現在)

その他の断層

その他、活断層の存在する場所や歴史上大地震の記録がある場所については、将来、大地震の発生する可能性がある。日本海沿岸では、過去に北但馬地震や北丹後地震（京都府）が起き、震度6を記録している。また、近隣府県にも生駒断層帯、三峠・京都西山断層帯など、多くの活断層が分布している。

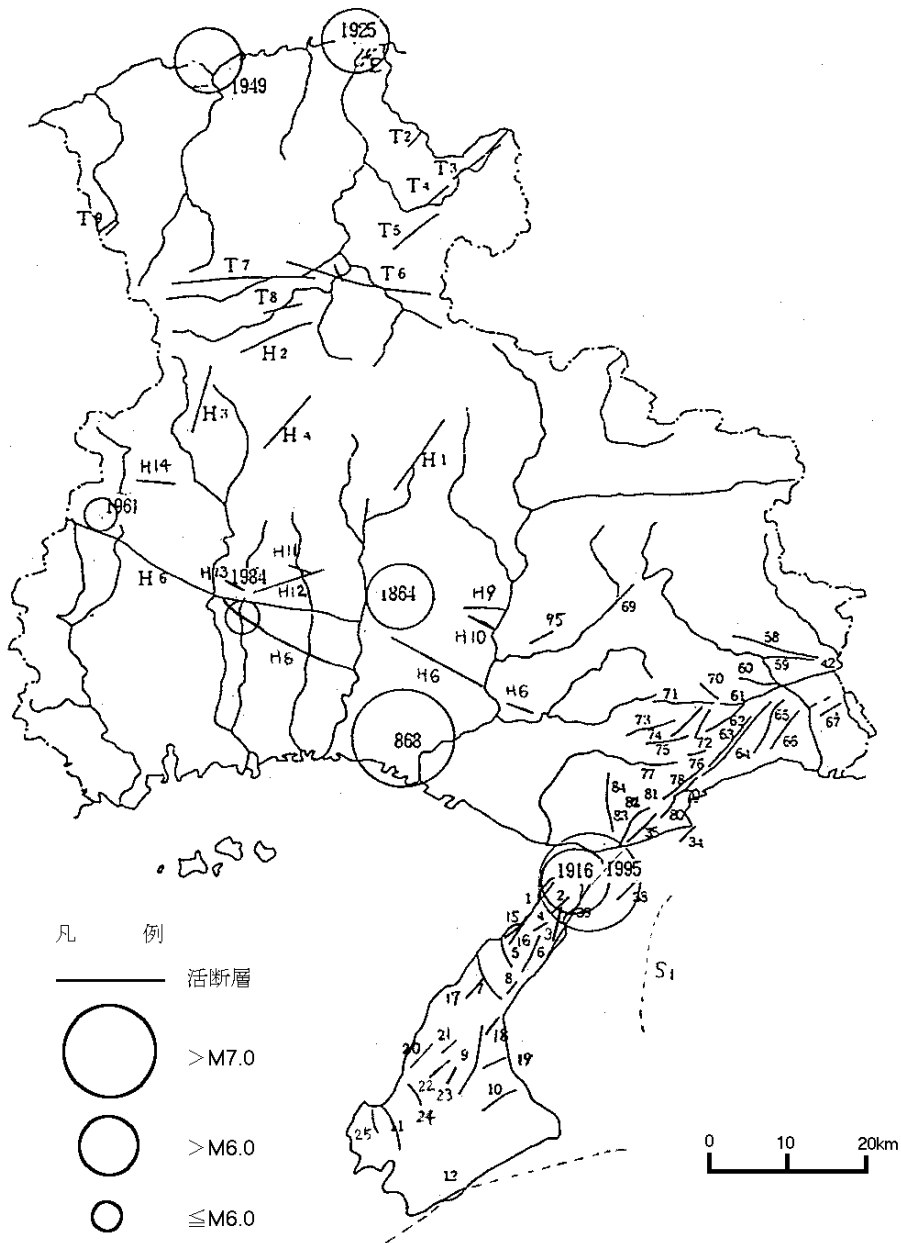
なお、近年の地震動向に関して、「南海トラフ沿いの巨大地震の前後に、内陸の大地震が集中して発生していることなどから、阪神・淡路大震災以降、西日本が地震の活動期に入った。」という学説もある。

2 活断層と地震災害

活断層の活動状況等については、まだ解明されていない点が多く、現段階では、時間、場所、規模を特定して地震の発生を予知することは不可能である。例えば、特定の地点をトレンチ調査等により調べたとしても、文献記録のない時代については活動時期の厳密な特定が難しいこと、活動周期が必ずしも一定であるとは断定できないことから、そこから直ちに得られる知見だけでは、かなりの幅を持った予測にとどまらざるを得ない。また、活断層と被害の関係についても、十分に判明しているとは言い難い。

そのため、今後、様々な観点から調査研究を積み上げ、データを集積し、活断層の活動の傾向や実態をより詳しく解明しなければならないが、それには長期的な取り組みが必要である。県をはじめ防災関係機関は、そうした認識の下に、可能な限りの防災対策の充実に努めるとともに、県民一人ひとりも地震に対する備えを怠らないことが何よりも肝要である。

兵庫県内の主要活断層の分布と主要地震の発生状況



兵庫県における主要活断層の名称と活動度

| 番号 | 活動度 | 断層の名称 | 番号 | 活動度 | 断層の名称 | 番号 | 活動度 | 断層の名称 | 番号 | 活動度 | 断層の名称 |
|------|-----|-------|-----|-----|----------|-----|-----|----------|-----|-----|---------|
| T 2 | C | | 2 | B-C | 橋本断層 | 2 3 | C | 奥畑断層 | 7 0 | C | 藤原山断層 |
| T 3 | | | 3 | B | 仮屋断層 | 2 4 | C | 下堺断層 | 7 1 | B | 有野-淡河断層 |
| T 4 | | | 4 | B-C | 東浦断層 | 2 5 | C | 雁子断層 | 7 2 | C | 射場山断層 |
| T 5 | | | 5 | C | 育波断層 | 3 4 | B | 和田岬断層 | 7 3 | B | 柏尾谷断層 |
| T 6 | B | 養父断層 | 6 | C | | 3 5 | B | 須磨断層 | 7 4 | B | 古々谷断層 |
| T 7 | B-C | 八木断層 | 7 | B-C | 志筑断層 | 3 8 | C | | 7 5 | B | 山田断層 |
| T 8 | C | | 8 | C | | 3 9 | B | 仮屋断層 | 7 6 | C | 北摩耶断層 |
| T 9 | C | | 9 | B | 先山断層 | 4 2 | B | 有馬-高槻構造線 | 7 7 | B | 万福寺断層 |
| H 1 | C | | 1 0 | B | 猪ノ鼻断層 | 5 8 | C | 十万辻断層 | 7 8 | B | 布引断層 |
| H 2 | C | | 1 1 | C | 観音山断層 | 5 9 | C | 中山塔断層 | 7 9 | B | 諏訪山断層 |
| H 3 | C | 引原断層 | 1 2 | B-C | 中央構造線断層系 | 6 0 | B | 名六甲断層 | 8 0 | B | 余下山断層 |
| H 4 | C | 三方川断層 | 1 5 | B | 水鏡構造線断層系 | 6 1 | B | 六甲断層 | 8 1 | C | 丸山断層 |
| H 6 | B | 山崎断層系 | 1 6 | B | 浅野断層 | 6 2 | B | 湯村谷断層 | 8 2 | B | 高取山断層 |
| H 10 | | | 1 7 | C | 一宮境曲 | 6 3 | B | 大月断層 | 8 3 | B | 横尾山断層 |
| H 11 | | 山之内断層 | 1 8 | B-C | 安平断層 | 6 4 | B | 五助境断層 | 8 4 | C | 高塚山断層 |
| H 12 | | 小畑断層 | 1 9 | C | 厚浜断層 | 6 5 | B | 芦屋断層 | 9 5 | B | 御所谷断層 |
| H 13 | | 須賀次断層 | 2 0 | B | 高山境曲 | 6 6 | B | 甲丹断層 | E | | |
| H 14 | | | 2 1 | B-C | 點原境曲 | 6 7 | B | 伊丹断層 | S 1 | B | 大阪湾断層 |
| 1 | B-A | 野島断層 | 2 2 | C | 點原南境曲 | 6 9 | C | 大川瀬断層 | | | |

【活動度】 A : 1 ~ 10mm/年
 B : 0.1 ~ 1mm/年
 C : 0.1mm/年以下

(昭和55年度兵庫県震災対策調査報告書及び『日本の活断層』(平成3年東京大学出版会発行)等による)

第3 被害想定

1 想定地震

兵庫県内において震度5強以上の揺れを生じさせる県内外の地震を対象とした。

〔M7以上の大地震を発生させる活断層〕

| 【県内にある断層】 (県内M7以上の地震、県内震度5強以上) | | 【県外にある断層】 (県内震度5強以上) |
|-----------------------------------|--------|---|
| 30年以内の地震発生確率 | 3%以上 | <u>山崎断層帯</u> <u>山崎断層帯全体 北西部単独</u> <u>南東部単独 南東部と草谷断層</u> |
| | 0.1~3% | <u>上町断層</u> <u>中央構造線断層帯(紀伊半島側)</u> <u>奈良盆地東縁断層帯</u> <u>那岐山断層帯</u> <u>生駒断層帯</u> <u>中央構造線断層帯(四国側)</u> <u>京都西山断層帯</u> <u>三峠断層</u> <u>花折断層帯</u> |
| | 0.1%未満 | <u>有馬-高槻断層帯</u> <u>大阪湾断層</u> <u>山田断層帯</u> <u>上林川断層</u> <u>郷村断層帯</u> <u>木津川断層帯</u> <u>鳥取地震</u> |
| 計8断層(細分化すると13断層) | | 計13断層 |

【全対象地震における各市町内震度の最大値】

| 凡 例 | | | 内陸型地震(活断層(主要)) | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|----------------|-------------------------|------------------|------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|---------------------|---------------------------|-------|-------|-------|
| | | | 有馬-高槻断層帯 | 六甲・淡路島断層帯(六甲山地南縁-淡路島東岸) | 六甲・淡路島断層帯(淡路島西岸) | 六甲・淡路島断層帯(先山断層帯) | 山崎断層帯(那岐山断層帯) | 山崎断層帯(主部南東部) | 山崎断層帯(主部北西部) | 山崎断層帯(主部南東部・幕谷断層) | 山崎断層帯(大原・土万・安富・主部南東部) | 中央構造線断層帯(会剛山地東縁-和泉山脈南縁) | 中央構造線断層帯(紀淡海峡-鳴門海峡) | 中央構造線断層帯(讃岐山脈南縁-石鏡山脈北縁東部) | 上町断層帯 | 生駒断層帯 | |
| 地域名 | 県民局名 | 市町名 | M7.7 | M7.9 | M7.1 | M6.6 | M7.6 | M7.3 | M7.7 | M7.5 | M8.0 | M7.7 | M7.7 | M8.4 | M7.5 | M7.5 | |
| 阪神・神戸 | 神戸 | 神戸市 | 震度7 | 震度7 | 震度7 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度5強 | 震度6強 | 震度6弱 | |
| | | 尼崎市 | 震度7 | 震度7 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 |
| | 阪神南 | 西宮市 | 震度7 | 震度7 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 |
| | | 芦屋市 | 震度7 | 震度7 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 |
| | | 伊丹市 | 震度7 | 震度7 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 |
| | 阪神北 | 宝塚市 | 震度7 | 震度7 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度7 | 震度6強 |
| | | 川西市 | 震度7 | 震度7 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6強 |
| | 東播磨 | 福山 | 三田市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 |
| | | | 福名川町 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 |
| | | 加古川 | 明石市 | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度7 | 震度5強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 |
| 加古川市 | | | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度7 | 震度5強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 |
| 高砂市 | | | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度7 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 |
| 姫路 | | 姫路市 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 |
| | | 福崎町 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 |
| 播磨 | | 中播磨 | 姫路市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 |
| | | | 福崎町 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 |
| | | 神門 | 神門町 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 |
| | 市川町 | | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | 西播磨 | 福崎町 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 相生市 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | 北播磨 | たつの市 | たつの市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度5強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 |
| | | | 赤穂市 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 |
| | | 丹波 | 丹波市 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 |
| | | | 上郡町 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 |
| 北播磨 | | 西脇市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 三木市 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | |
| 但馬・丹波 | 但馬 | 小野市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | |
| | | 加西市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | |
| | | 加東市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度7 | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | |
| | | 多可町 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 豊岡市 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 養父市 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | 丹波 | 朝来市 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 香美町 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 新温泉町 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 魏山町 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| 淡路 | 淡路 | 洲本市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | |
| | | 南あわじ市 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | |
| | | 淡路市 | 震度6強 | 震度7 | 震度7 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | |

| 凡 例 | | | 内陸型地震(活断層(主要)) | | | | | | | | | 活断層(主要以外) | | | |
|-------|------|-------|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|------------|---------------|----------------------|--------------|------------|---------------|------------|-------|-------|-------|
| | | | 三峠-京都 西山断層帯 (京都西山 断層帯) | 三峠-京都 西山断層帯 (上林川断 層帯) | 三峠-京都 西山断層帯 (三峠断層 帯) | 大阪湾断層 帯 | 山田断層帯 (主部) | 山田断層帯 (郷村断層 帯) | 花折断層帯 中南部 | 木津川断層 帯 | 奈良盆地東 縁断層帯 | 御所谷断層 帯 | 養父断層帯 | 鳥取地震 | |
| 地域名 | 県民局名 | 市町名 | M7.6 | M7.2 | M7.2 | M7.5 | M7.4 | M7.4 | M7.4 | M7.3 | M7.4 | M7.2 | M7.0 | M7.2 | |
| 阪神・神戸 | 神戸 | 神戸市 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度7 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 阪神南 | 尼崎市 | 震度7 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 |
| | | 西宮市 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | 阪神北 | 芦屋市 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 伊丹市 | 震度7 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 宝塚市 | 震度6強 | 震度5強 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度5弱 | 震度5強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 川西市 | 震度7 | 震度5強 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 三田市 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| 東播磨 | 猪名川町 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 明石市 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度7 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 加古川市 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 高砂市 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 稲美町 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 播磨町 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 中播磨 | 姫路市 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度5弱 | 震度4以下 | |
| | | 神戸町 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度5弱 | 震度4以下 | |
| | | 市川町 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | 西播磨 | 福崎町 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| 相生市 | | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| たつの市 | | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度4以下 | | |
| 赤穂市 | | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| 宍粟市 | | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度5弱 | 震度5弱 | | |
| 太子町 | | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| 上郡町 | | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| 佐用町 | | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| 北播磨 | | 西脇市 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 三木市 | 震度5強 | 震度5弱 | 震度5強 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | 小野市 | 震度6弱 | 震度5弱 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 加西市 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| | 加東市 | 震度5強 | 震度5弱 | 震度5弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | | |
| 多可町 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度5弱 | 震度4以下 | | | |
| 但馬・丹波 | 但馬 | 豊岡市 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度6弱 | 震度5弱 | |
| | | 養父市 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度6弱 | 震度5弱 | |
| | | 朝来市 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | |
| | | 香美町 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度5弱 | |
| | | 新温泉町 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度5強 | |
| | 丹波 | 篠山市 | 震度6弱 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| 丹波市 | 震度6弱 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度5弱 | 震度5強 | 震度5弱 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度5強 | 震度4以下 | | |
| 淡路 | 淡路 | 洲本市 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 南あわじ市 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度6強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | |
| | | 淡路市 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度7 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度4以下 | 震度5強 | 震度4以下 | 震度4以下 | |

2 地震被害想定

兵庫県域で注意すべき代表的な地震について、詳細な地震被害想定を実施した。

【想定地震の概要】

| 想定地震 | 想定震源地 | 想定規模 |
|------------|-----------------------|---------|
| 山崎断層帯地震 | 山崎断層帯（大原・土方・安富・主部南東部） | M 8 . 0 |
| 上町断層帯地震 | 上町断層帯 | M 7 . 5 |
| 中央構造線断層帯地震 | 中央構造線断層（紀淡海峡-鳴門海峡） | M 7 . 7 |
| 養父断層帯地震 | 養父断層 | M 7 . 0 |

(1) 山崎断層（大原・土方・安富・主部南東部）帯地震

建物の被害

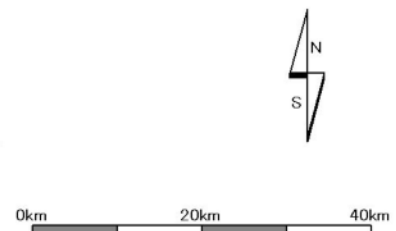
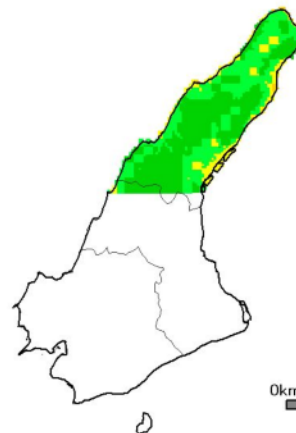
揺れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約57,600棟
 (半壊) 約150,600棟
 がけ崩れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約1,900棟
 (半壊) 約4,300棟
 火災による焼失棟数(冬18時)
 約1,100棟

ライフラインの被害

上水道(断水による影響人口)
 約1,435,600人
 電力
 (停電軒数) 約234,700軒
 ガス
 (供給停止戸数) 約569,100戸
 通信(固定電話)
 (被災回線数) 約229,800回線

人の被害

建物倒壊による死傷者数(冬5時)
 (死者) 約3,600人
 (負傷者) 約24,900人
 (重傷者) 約2,600人
 がけ崩れによる死傷者数
 (死者) 約130人
 (負傷者) 約160人
 火災による焼死者数(冬18時)
 約90人
 避難者数(震災直後)
 約746,200人
 帰宅困難者数 約1,078,300人



(2) 上町断層帯地震

建物の被害

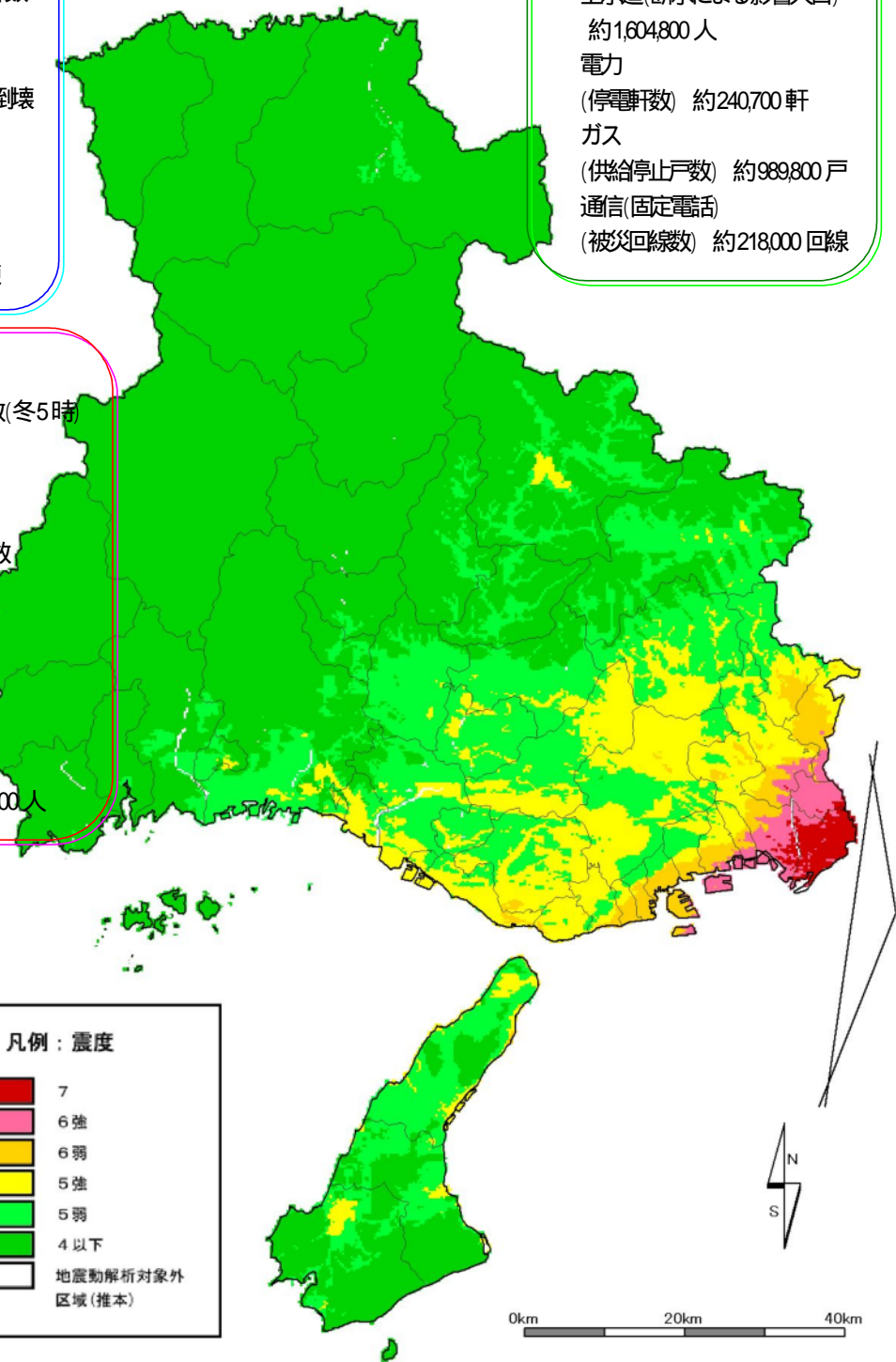
揺れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約89,300棟
 (半壊) 約95,500棟
 かけ崩れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約460棟
 (半壊) 約1,100棟
 火災による焼失棟数
 (冬18時) 約6,200棟

ライフラインの被害

上水道(断水による影響人口)
 約1,604,800人
 電力
 (停電軒数) 約240,700軒
 ガス
 (供給停止戸数) 約989,800戸
 通信(固定電話)
 (被災回線数) 約218,000回線

人の被害

建物倒壊による死傷者数(冬5時)
 (死者) 約5,500人
 (負傷者) 約20,100人
 (重傷者) 約6,600人
 かけ崩れによる死傷者数
 (死者) 約30人
 (負傷者) 約40人
 火災による焼死者数
 (冬18時) 約400人
 避難者数(震災直後)
 約918,700人
 帰宅困難者数 約1,073,200人



(3) 中央構造線断層帯（紀淡海峡-鳴門海峡）地震

建物の被害

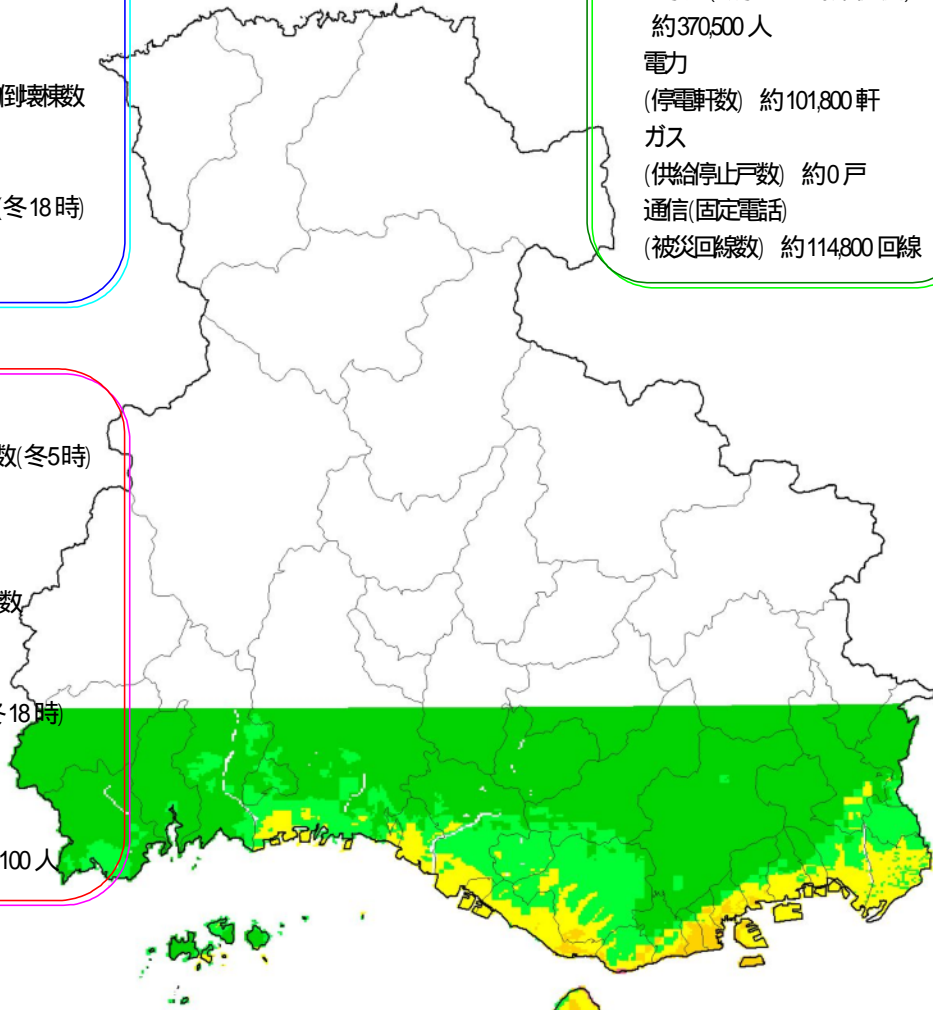
揺れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約38,400棟
 (半壊) 約33,900棟
 がけ崩れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約1,000棟
 (半壊) 約2,200棟
 火災による焼失棟数(冬18時)
 約270棟

ライフラインの被害

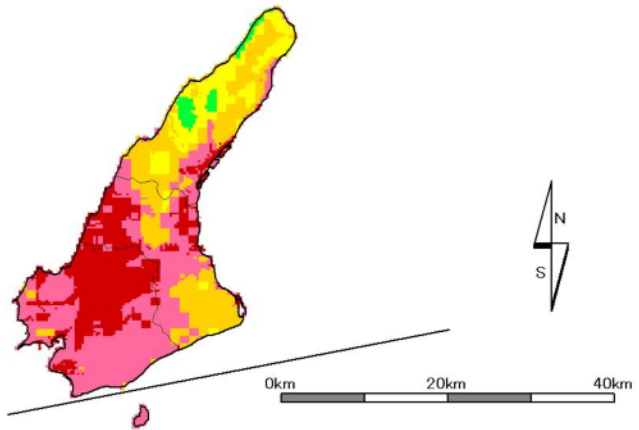
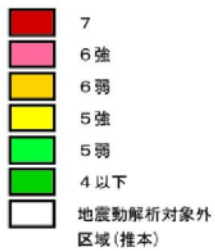
上水道(断水による影響人口)
 約370,500人
 電力
 (停電軒数) 約101,800軒
 ガス
 (供給停止戸数) 約0戸
 通信(固定電話)
 (被災回線数) 約114,800回線

人の被害

建物倒壊による死傷者数(冬5時)
 (死者) 約2,300人
 (負傷者) 約3,400人
 (重傷者) 約920人
 がけ崩れによる死傷者数
 (死者) 約70人
 (負傷者) 約80人
 火災による焼死者数(冬18時)
 約30人
 避難者数(震災直後)
 約192,800人
 帰宅困難者数 約1,003,100人



凡例：震度



(4) 養父断層帯地震

建物の被害

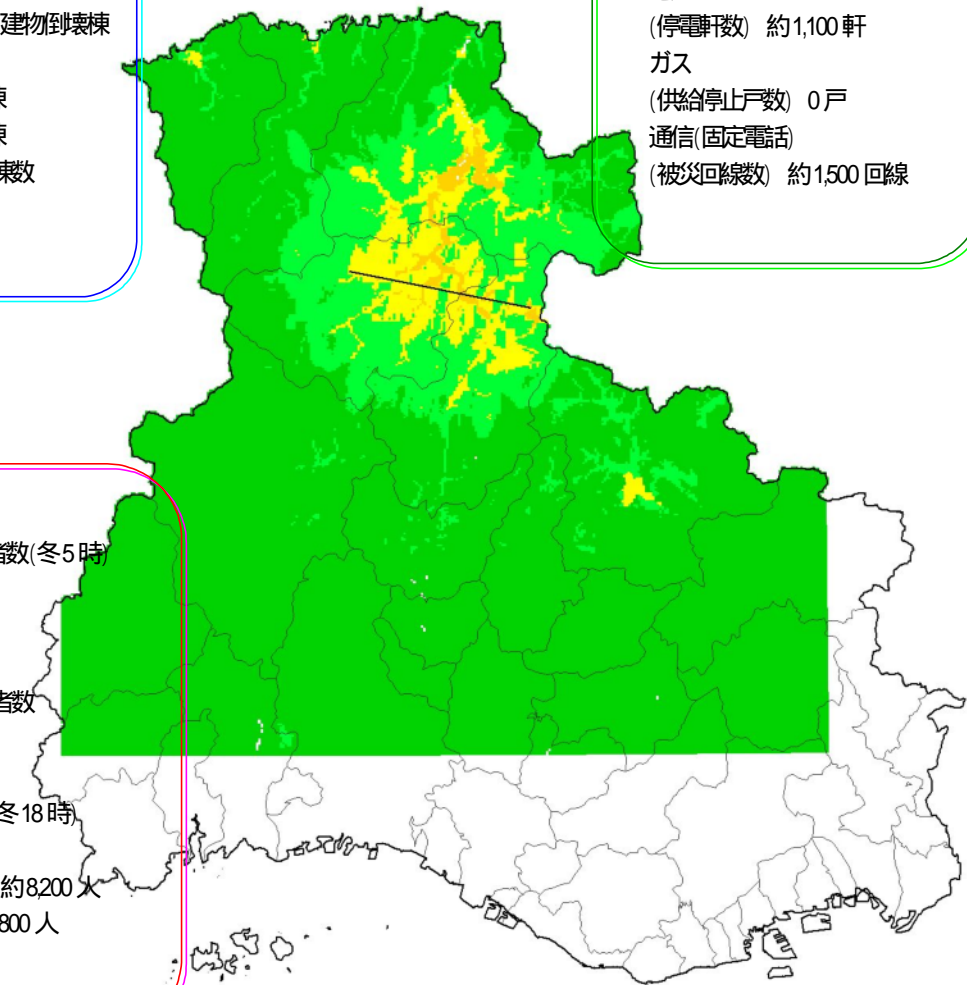
揺れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約150棟
 (半壊) 約2900棟
 がけ崩れによる建物倒壊棟数
 (全壊) 約110棟
 (半壊) 約250棟
 火災による焼失棟数
 (冬18時) 数棟

ライフラインの被害

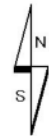
上水道(断水による影響人口)
 約17,800人
 電力
 (停電軒数) 約1,100軒
 ガス
 (供給停止戸数) 0戸
 通信(固定電話)
 (被災回線数) 約1,500回線

人の被害

建物倒壊による死傷者数(冬5時)
 (死者) 約10人
 (負傷者) 約200人
 (重傷者) 数人
 がけ崩れによる死傷者数
 (死者) 数人
 (負傷者) 数人
 火災による焼死者数(冬18時)
 数人
 避難者数(震災直後) 約8,200人
 帰宅困難者数 約300,800人



凡例：震度



0km 20km 40km